

写真／新しくなった図書館。左上から時計回りに、カウンター、開架書庫、ラーニングcommons、情報プラザ。

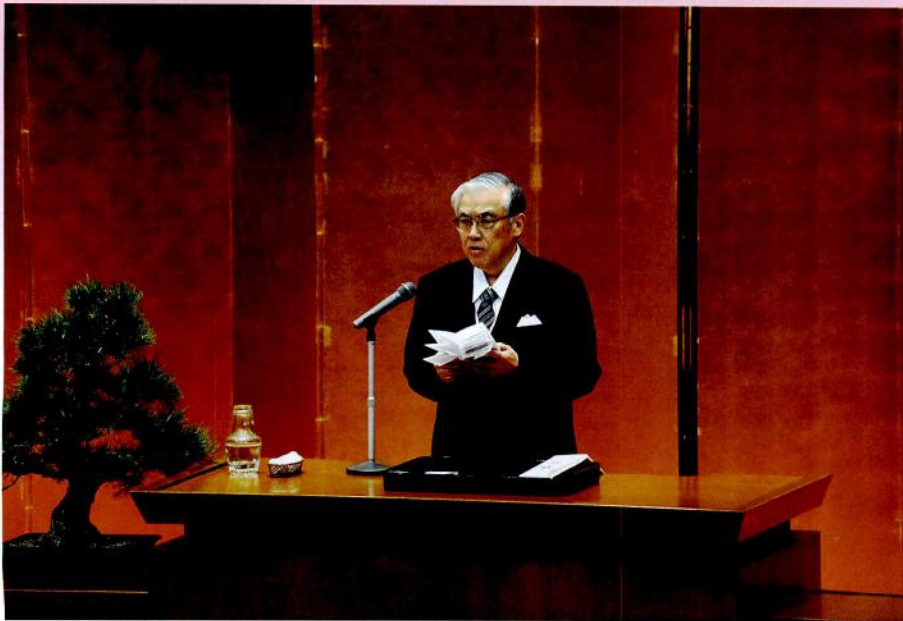
## 目次

- 02 ■ 平成23年度入学式
- 03 ■ 名誉教授称号授与式
- 04 ■ 札幌市長・江別市長が来学
- 05 ■ 新任教員あいさつ
- 12 ■ 長期海外研修報告
- 14 ■ 学生総合事務局紹介
- 16 ■ 体育祭フォトアルバム
- 18 ■ YOSAKOIソーラン
- 20 ■ 就職情報サイトリニューアル
- 21 ■ 就職応援メッセージ
- 22 ■ 留学生の企業見学
- 24 ■ 保護者の会 役員会開催
- 25 ■ 南京大学5期生が本学に編入学
- 26 ■ 留学生 春の宿泊研修
- 28 ■ 第2回 留学生の日本語弁論大会
- 30 ■ 学生の健康状態について
- 31 ■ 囲碁部員樋口君、学生全国大会出場
- 32 ■ 「ハバネロラジオ」の制作に参加
- 34 ■ メディアデザイン展参加募集
- 35 ■ Library News 私の薦める本
- 38 ■ 新図書館オープン
- 40 ■ 平成23年度公開講座
- 44 ■ 平成22年度決算報告
- 44 ■ 大学主要行事等／編集後記



発行：北海道情報大学  
 〒069-8585  
 江別市西野幌59-2  
 TEL 011-385-4411  
 FAX 011-384-0134

# 平成23年度 入学式



4月5日(火)午前10時から、本学松尾記念館講堂において、平成23年度北海道情報大学入学式が行われました。  
今年度は開式前に、この度の東日本大震災でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。

祝辞を述べる松尾理事長

式の模様は、式場に設置されたテレビカメラにより、保護者室(201教室、202教室、204教室)と全国にある通信教育部の各教育センターにも生中継され、多くの保護者や教職員に見守られる中、約一、〇〇〇名の新入生が、情報大学生としてスタートさせました。



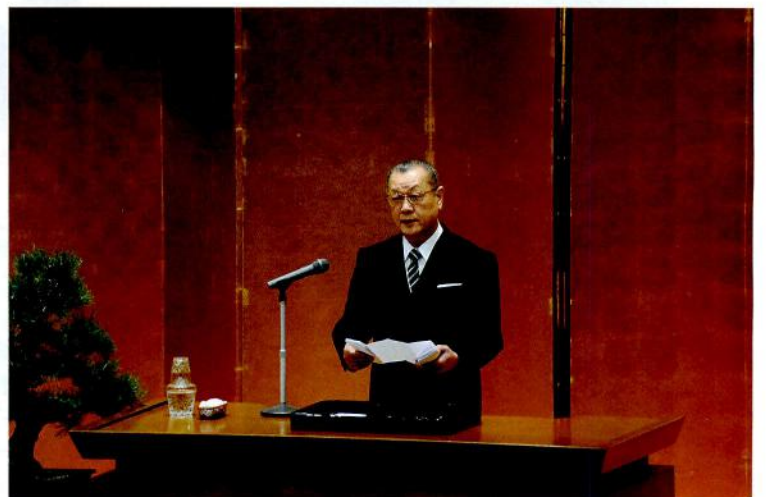
式場の模様(入学生代表の言葉)

今年度も入学生が多く、式場内に保護者席を用意できませんでしたが、厳粛なうちにも和やかな雰囲気の中に行われました。

式の中では、入学生代表として池田洋佑さん(情報メディア学科一年)が、南京大学編入学生代表として尹波さん(総務課)

ん(情報メディア学科三年)が、これからの学生生活の抱負について宣誓しました。

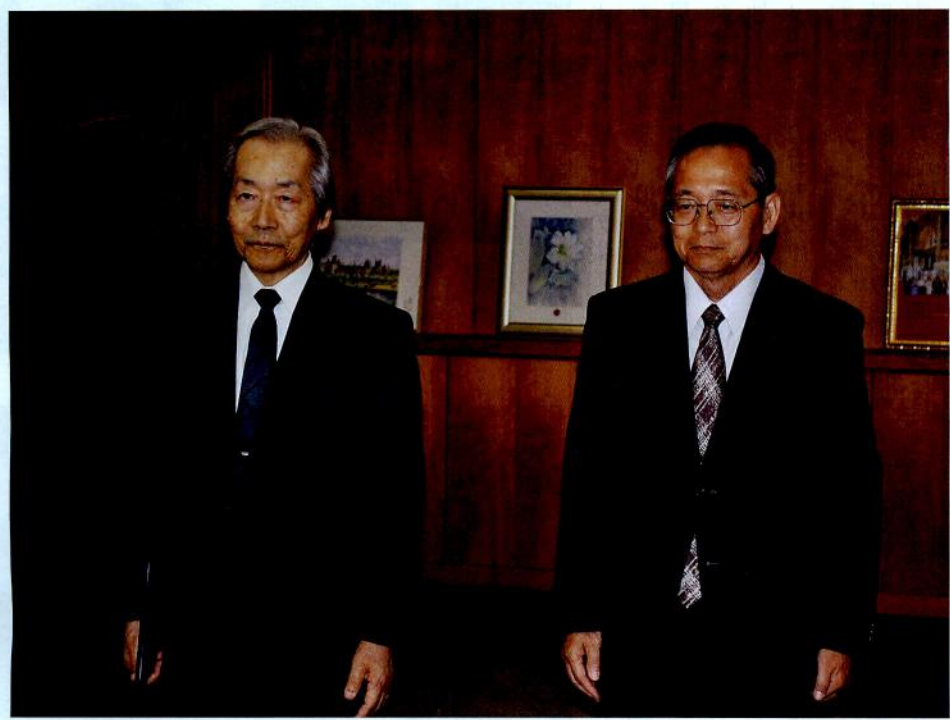
式終了後には、新入生と保護者に対して、本学の開学に至った経緯等について知っていただくために、本学園の創立者である松尾三郎前理事長の生誕九十年を記念して収録されたDVDの上映を行い、その後、学科・専攻ごとに分かれて場所を教室に移し、新入生・保護者・クラス担任の顔合わせを兼ねた学科別等ミーティングが行われました。(総務課)



告辞を述べる長谷川学長



# 名誉教授称号授与式を行う



平成23年7月21日(木)、北海道情報大学名誉教授称号授与規程に基づき、名誉教授の称号授与式が学長室において行われました。

長谷川学長、富士副学長、森澤経営情報学部部長、山北情報メディア学部部長、中居常務理事、近藤事務局長立ち会いのもと、長谷川学長から角井 穆氏(元システム情報学科教授)、林 雄二氏(元システム情報学科教授)へ称号が授与され、最後に長谷川学長より、長年にわたって本学に多大なる御尽力されたことへの感謝の辞がのべられました。

(総務課)

# 札幌市長・江別市長が本学を視察

常務理事 中居 聡士

平成23年7月13日(水)の午前9時20分より、上田文雄札幌市長、三好 昇江別市長が来学され、国際交流センターを視察されました。札幌市と江別市は食品産業の振興と集積を図ることを目的として、両市における情報の共有化及び連携強化等について検討されており、今回本学が推進している機能性食品の有効性臨床試験の実績から現場を視察されたものです。

西平教授(医療情報学科教授・健康情報科学研究センター長)は、北海道、札幌市等が中核となりノーステック財団が取りまとめている北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、そして本学が連携しながら進めているバイオクラスター事業(さつぼろBio・S)の一翼を担っております。平成21年9月からは、機能性食品の有効性臨床試験プロジェクトを北海道、江別市からのご支援を得て、推進してきております。

この二つの研究・試験は本学の医療情報学科の研究の中心であると同時に、北海道の食の安全への取り組み、江別市の健康都市づくりへの実績となり得るものとなっております。

視察に先立ち、長谷川学長のあいさつ、西平教授から札幌・江別地域における「食と健康」に関する産学官連携プロジェクトについて説明がありました。説明の後、Bio・Sフードサイエンスカレッジとしての人材育成プログラム、



上田札幌市長(左)と三好江別市長



食育キットを使つての栄養指導の現場を見学され、2Fへ移動され、バーチャルホスピタルでの臨床試験の取り組みの実際を見学されました。

これまでには、北海道産のタマネギ、小豆、アスパラなどの有効性について試験を実施してきており、今年度は大手乳製品メーカーのヨーグルトの大規模な臨床試験が9月から開始されます。

短時間での視察ではありませんでしたが、両市長におかれましては、本学の取り組みに深い関心と理解を賜ることができたと考えます。札幌市・江別市の期待に応えるべく本学は、この分野の研究を積極的にこれからも推し進めて参ります。

視察者は次のとおりです。

・札幌市

市長 上田文雄

産業振興部長 本間敬久

企画課長 浅村晋彦

企画課係長 久保田研介

秘書課係長 馬場敏彦

経済企画課係長 清水 学

・江別市

市長 三好 昇

経済部長 加納好春

企業立地推進室長 安藤明彦

企業立地課長 大川直久

企業立地課参事 新津健次



## 「旅」のはなし

医療情報学科講師

荒木 陽子

4月に医療情報学科講師として着任いたしました荒木陽子です。新潟県出身です。専門分野は北米の英語圏の文化や文学ですが、本年度は低学年の英語を中心に教えています。

人生はしばしば「旅」にたとえられますが、これまでの私の人生は、名実ともに旅そのものです。ですから、今日は自己紹介のために、その旅の話を書かせてください。

私は1999年の春に新潟県新発田市の敬和学園大学という小さな大学を卒業しました。一学年の定員はわずか二百人でした。ただ、「勉強したくないし、車を買ってもらえない」という安直な理由で、地元の大学に入学した学生にとつて、少人数ゆえのびのびとしていても「不適切に」手を抜くことは許されない環境に置かれたことは幸いでした。英語英米文学科の学生となったものの音楽ばかり聞いていて、文学も英語も好きではなかった私は、進路に迷い、結局、一般企業の就職活動、教育実習といういろいろ試させていただいた挙句に、「執行猶予」的措置として、「なんとなく」アメリカの音楽も研究対

象にできた京都市の同志社大学大学院アメリカ研究科にすすみました。

同研究科では同期入学の仲間のうち、長期海外経験がない学生が私以外にはほほいという状況の中で、研究対象に何を選ぼうが、適切な方法論を持つて議論を進めれば研究が成立する、文化および文学の研究の楽しさを知り、研究にのめりこんでゆきました。また、同時に、研究のための文献読破やフィールドワーク、打ち合わせ等、研究の「武器」としての英語の必要性を痛感しました。このとき学部時代に「英語を学ぶための基礎」を与えてくれた先生方にとだけ感謝したことでしょうか。結局、この時代の経験がその後の私の職業選択に大きな影響を与えることになりました。

元来収益性が見込める分野を専攻していたわけではないので、できるだけ学費や生活費は自分で賄う決意でおりました。エリートではない私は、研究を続けてゆくために就職したり、経済的にやりくり可能な大学を選んで「旅」してゆくより仕方なかったのです。2001年に商社に

就職して間もなく、ロータリー財団より奨学金をいただくことになり、翌年カナダ文学・文化を勉強するためにニューブランズウィック大学大学院英文学研究科に進学しました。

ただ、奨学金が二年間のみだったこともあり、再び修士課程で勉強しました。その後もすぐに博士課程後期にすすむという希望はかなわず、生きてゆくためにカナダの小さな会社で働きました。母校の敬和学園大学より英語の非常勤講師の職をいただいたのはその後のことで、2005年の春にやつと故郷にもどりました。大学に入学したころには、自分が英語を教えることになるとは思っていませんでしたが、自分が意義を感じつつ、社会のために貢献でき、かつ食べてゆくための「技術」は、文化とともに英語を教えることくらいしかならないということに、やつと自身身で納得がいったのです。

その後の旅も平坦ではありませんでした。念願の大学院博士課程後期に進学できたのは新潟県内の複数の大学で非常勤講師を二年務めた後でした。そして、仕事をしながら通った新潟大学大学院博士課程後期一年の終わりに、高等教育機関で専任の職が決まりましたが、就職先の新居浜工業高等専門学校は私にとつては未踏の愛媛県にありました。そして、

いよいよ、念願の大学で教える仕事につけることになった今年、前年まで一度も足を踏み入れたことのない、北海道にある北海道情報大学に赴任いたしました。

さて私の旅は、好きなことを追求した結果、北海道に着きました。今度私が学生と、「彼ら」の「やりたいこと」を一緒に探して、彼らの「旅」を実現するのをお手伝いする役に徹する所存です。不勉強なため、皆さんにご迷惑おかけするかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。





## 自己紹介

先端経営学科講師 今井 希

◎はじめに

本州の友人や知り合いと連絡を取り、暑さに困っている話を聞くたびに、ちよつとした優越感に浸っています、今井 希と申します。兵庫県神戸市で生まれ、物心がついて以降ずっと神戸で過ごし、本年4月に着任いたしました。以下、簡単ではありますが自己紹介をさせていただきます。

◎専門について

私は、昨年度まで神戸大学大学院経営学研究科というところで、大学院生をしていました。大学院では、経営学、中でも経営戦略論と呼ばれる領域について関心をもち、これまでに研究してきました。

経営戦略について考えるとは、「企業が目的を成し遂げるために、自社を取り巻く環境、すなわち顧客や競争相手、供給業者や政府といった様々な利害関係者と、どういった関係を築いていくか」について考えることだといえます。ピンとこなければ、企業を自分自身に置き換えてみてください。私たちは、常に多くのヒト

やモノ、社会的な制度と多様な関わりを持ちながら日々の生活を送っています。この、私たち個々人と関わるヒトやモノ、社会制度は、私たちにとつての「環境」と呼ばれます(ヒトだけに焦点を当てても、例えば親や兄弟、親戚、友人、恋人、学校に通っていけば、先輩、後輩、先生や事務の人、さらには近所の人やよく行く店の店員さん、といったさまざまなヒトと、私たちは常に何らかの形で関わりを持っているでしょう)。

これらの環境と関わるなかで、自らのパーソナリティ(性格)や社会的な役割を築き、自分だけでは成し遂げられない様々なこと行ってきたはずで、このように、自らを取り巻く環境とどのような関係を築いていくのか。その関係をつうじて、いかに物事を成し遂げるのか。大体こんなことについてこれまで考えてきました。

◎それ以外のことについて

神戸では、小学校・中学校・高校(県立高校)・大学・大学院と、家から一番近い学校に通って生活して

たので、人生経験が豊富にあるとは言えませんが、研究以外の紹介事項は、以下のようなことになると思います。

・好きなスポーツ：野球、サッカー、テニスなど

(中学時代は、グラウンドが異様に小さく野球部のない学校にいたので美術部でしたが)高校では硬式野球部だったので、野球はするのも見るのも好きです。野球以外にも、球技は全般的に好きです(ただ、ソフトボールよりも大きな球を使う球技になると、突然下手になります)。

・趣味：旅行(国内)、釣り  
時間を見つけては、一人で日本各地をうろろする癖があります。北海道を最初に訪れたのは、大学2年生のときでした(根室駅で借りたマチャリで納沙布岬まで走って行って、ずいぶん大変だった思い出があります)。

一人旅の癖は昔からありましたが、釣りを始めたのは大学院に入ってからでした。魚を釣るだけでなく、「魚を釣る」という目線で街(港)を見ることがよく見知った場所の新しい面が次々と見えることが楽しく、定期的に港に出かけるようになりました。北海道に来てからはまだ竿を出していないのですが、おそらく時間の問題です。

◎おわりに

やや偏ってはいますが、以上が私自身の紹介になります。微力ながら、これまでやってきたことを基盤としながら、北海道情報大学に様々な点で貢献することができればと考えています。まだ、北海道に来て四カ月余りですのでわからないことだらけですし、冬も経験していません。いろいろな場面でバタバタしていると思いますが、ご指導いただけると幸いです。

学生の皆さんは、今後の人生で、是非一度は道外で生活してみてください。私自身は、今まさに北海道と関西の違いを肌で感じているところですが、同様に、皆さんの多くにとって、道外の環境(気候も人も)は北海道とは異質なものに感じるはずで、そんな道外での経験はきっと皆さんを大きく成長させてくれることと思います。まずは、観光からではないと思いますが、道外の空気には是非触れてみてください。

それでは、今後ともよろしくお願ひいたします。



## 着任のびあいさつ

システム情報学科教授 尾崎 博一

この4月に経営情報学部システム情報学科に着任しました尾崎博一です。ロボット・組込みシステムコースを担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。この場をお借りして私の経歴と本学における抱負について述べさせていただきます。私は1960年5月に札幌に生まれ、十八歳まで札幌を中心に過ごしました。途中小学校三年から五年までの三年間は父の仕事の関係で現在本学のある江別市で暮らしたことがあります。札幌南高校を卒業後、大学は北海道からは遙か西の京都大学に進みました。京大を選んだのは一度北海道を出てみたかったためと京都が古い小さな町であることに魅かれたためです。1983年に工学部電気工学科を卒業、1985年に大学院の修士課程を修了しました。京都で過ごした六年間は大変思い出深く日本人としての私の心に大きな影響を与えたと思います。

大学院修了と同時にNECに入社し、以来二十六年間、技術者として通信装置の設計開発業務に従事しました。入社当時は光通信というものが国内外で本格的な普及を始めた頃で、私の配属された部門では当時世界最高速度の光伝送装置を開発していました。光伝送装置とは電話局に設置されるもので、多くの電話の信号を束ねて一本の高速な光信号に変換し遠方へ送り届ける装置のことです。装置の動作を監視、制御するための専用ソフトウェアが搭載されており代表的な組込みシステムと言えます。ハードウェアの詳細設計から始まりソフトウェアの基本設計やシステムの取りまとめ、営業支援活動まで様々な実務を経験しました。在職中は残業に次ぐ残業の日々でしたが、技術的なことは勿論、仕事の進め方からものの見方に至るまで非常に多くのことを学びました。こうした業務の一方、インターネットの急速な普及を目の当たりにする中でコンピュータネットワークの信頼性に興味を持つようになり、この分野の研究で2009年に学位を取得しました。私は教えることが大好きで会社でもいろいろな技術者教育の講師を担当しております。

4月からは本学の教員として非常に充実した楽しい日々を過ごさせていただいております。大学の教員には教育、研究、社会貢献の三つが求められますが、私はこの中で教育が最も重要であると考えております。本学においては教員としての上から目線ではなく学生諸君と同じ目線で取り組んで参りたいと思います。また、次世代を担う優秀な人材を一人でも多く育てることができれば教師冥利に尽きると思えます。日本では現在、残念ながら内向き志向が強まりつつありますが、避けて通ることのできない国際化の中で学生諸君には広く世界に目を向けてほしいと願っております。

研究に関してはコンピュータネットワークの信頼性研究を続けるとともにネットワークロボットの研究に取り組みたいと思えます。ネットワークロボットとは複数のロボットがネットワークを介して協調・連携し一台のロボットではできないサービスを提供するシステムです。具体的には協調・連携して動作する看護・介護ロボット、災害時の救助・救済ロボットなどが考えられます。こうしたロボットシステムは安心・安全なユビキタス社会の実現に大きく寄与するものと期待されています。これまでの研究の延長としてネットワークロボットの信頼性について研究を進めたいと思えます。私は、研究の成果は国際的に発表しアピールすることが重要であり日本人研究者としての責務であるとも考えております。同時に地域社会に対する貢献も疎かにはせず、市民を対象とするセミナー等で積極的に教育・啓蒙活動を行いたいと思えます。生まれ育った北海道で、しかも本学の素晴らしい環境の下で教育・研究の仕事ができる身の幸せに深く感謝しております。本学発展のために貢献させていただきます。今後ともよろしくお願い致します。





## 着任のどいあつち

医療情報学科准教授 後藤 雄太

はじめまして。この4月に医療情報学科に着任した後藤雄太です。よろしくお願いたします。専門は倫理学です。

の哲学を中心に学び、卒論は中期中の勉強に打ち込み、それなりに充実はしていたのですが、その一方で何か飽き足りないものも感じていました。なぜなら、哲学というのは、昔の書物を翻訳して解釈するだけではなく、いまこの世界で起きている現実の問題や人間の生き方の問題を扱うのが本道だと考え始めていたからです(青臭いと言われるかもしれませんが)。

大学院修了後は、十年間ほど大学の非常勤講師などをしながら、細々と生活してきました。研究面では、応用倫理学の研究に本格的に着手し始め、現在は生命倫理学と情報倫理学を中心に研究しているところです。生命倫理学的課題としては、超越的価値が失われたため生や死の意味が不確かになっている現代社会における「死の受容」に関する問題や終末期医療のあり方をめぐる問題などに取り組んできました。また、情報倫理的課題としては、自己の存在に対する肯定感が希薄な現代人——特に十代を中心とした若者——が、ケータイやインターネットなどの電子メディアによって如何なる人間関係を作り出し、社会にどんな倫理的課題をもたらししているかを分析しつつ、情報化社会における電子メディアとのつき合い方を探求してきました。

最後になりますが、私は健全な人生を歩んできた大人であるとは言えないかもしれませんが、しかし、私みたいな大人にしか伝えられないこともあるのだと信じて、次の世代の人たちと接していこうと思っています。

私の出身地は岐阜県の関市です(刃物の生産で有名なところ)。ここで高校を卒業するまで過ごしましたが、正直なところ、あまり楽しい思い出はありません。青春時代を美しく彩るような、部活や恋愛に関するエピソードもありません。私は、とても暗い少年でした(今も基本的に暗いのですが……)。学校に行くのもとても嫌でした。そんな私の少年時代に起きた一番重要な出来事と言えば、中学時代に宮沢賢治の詩や童話に出会うことができたことでしょうか。それがきっかけで、仏教や文学に関心を持つようになりました。

高校時代には、仏教の源流であるインドの仏教への関心が高まり、大学は広島大学文学部哲学科のインド哲学専攻へ進学することにしました(今から思えば、将来の就職のことなどは全く考慮しない大胆な進路選択でした……)。学部時代は、「空」の思想を前面に押し出した「中観派」

の哲学を中心に学び、卒論は中期中の勉強に打ち込み、それなりに充実はしていたのですが、その一方で何か飽き足りないものも感じていました。なぜなら、哲学というのは、昔の書物を翻訳して解釈するだけではなく、いまこの世界で起きている現実の問題や人間の生き方の問題を扱うのが本道だと考え始めていたからです(青臭いと言われるかもしれませんが)。

大学院修了後は、十年間ほど大学の非常勤講師などをしながら、細々と生活してきました。研究面では、応用倫理学の研究に本格的に着手し始め、現在は生命倫理学と情報倫理学を中心に研究しているところです。生命倫理学的課題としては、超越的価値が失われたため生や死の意味が不確かになっている現代社会における「死の受容」に関する問題や終末期医療のあり方をめぐる問題などに取り組んできました。また、情報倫理的課題としては、自己の存在に対する肯定感が希薄な現代人——特に十代を中心とした若者——が、ケータイやインターネットなどの電子メディアによって如何なる人間関係を作り出し、社会にどんな倫理的課題をもたらししているかを分析しつつ、情報化社会における電子メディアとのつき合い方を探求してきました。

の思想を前面に押し出した「中観派」

の哲学を中心に学び、卒論は中期中の勉強に打ち込み、それなりに充実はしていたのですが、その一方で何か飽き足りないものも感じていました。なぜなら、哲学というのは、昔の書物を翻訳して解釈するだけではなく、いまこの世界で起きている現実の問題や人間の生き方の問題を扱うのが本道だと考え始めていたからです(青臭いと言われるかもしれませんが)。

大学院修了後は、十年間ほど大学の非常勤講師などをしながら、細々と生活してきました。研究面では、応用倫理学の研究に本格的に着手し始め、現在は生命倫理学と情報倫理学を中心に研究しているところです。生命倫理学的課題としては、超越的価値が失われたため生や死の意味が不確かになっている現代社会における「死の受容」に関する問題や終末期医療のあり方をめぐる問題などに取り組んできました。また、情報倫理的課題としては、自己の存在に対する肯定感が希薄な現代人——特に十代を中心とした若者——が、ケータイやインターネットなどの電子メディアによって如何なる人間関係を作り出し、社会にどんな倫理的課題をもたらししているかを分析しつつ、情報化社会における電子メディアとのつき合い方を探求してきました。

最後になりますが、私は健全な人生を歩んできた大人であるとは言えないかもしれませんが、しかし、私みたいな大人にしか伝えられないこともあるのだと信じて、次の世代の人たちと接していこうと思っています。







## 着任のびあいらび

システム情報学科教授 齋藤 静司

齋藤静司と申します。

今年4月から医療情報学科にお世話になっていきます。

どうぞよろしくお願ひ致します。

自己紹介(及び研究内容について)...

まずは、簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は、室蘭市で生まれ、小、中、高校までを札幌で過ごしました。大学入学と同時に北海道を離れ、こちらに戻ってくるのは約二十年ぶりです。

大学では物理学を専攻し、主に統計物理学をやりましたが、大学院に行く頃は理論生物学に興味を持つようになり、研究室を移りました。

大学院では、生物学の問題に対して物理学や計算機科学の方法論を用いて研究するという、今でいう(広義の)バイオインフォマティクスの研究を行っていました。

私が学生の頃は生命情報科学、バイオインフォマティクスと言った言葉はそれほど一般的ではなかったこともあり、特に生物学の基本的な問

題に対して計算機を用いて研究を行っていた複雑系の研究グループと共に仕事をっていました。

学位を取得した後はコンピュータ会社の研究所で最適化アルゴリズムに関する研究をしていましたが、創薬関連の社内ベンチャーに参加しバイオインフォマティクス研究に戻ることとなりました。ここでは、実験

データや文献情報を計算機を用いて解析することによる創薬ターゲットの探索や、抗体医薬の設計といった仕事をってきました。また、希少疾患関連遺伝子の構造解析の仕事や、最近では、次世代シーケンサと呼ばれるハイスループットなシーケンサを用いたゲノム解析、質量分析器を用いた代謝産物の解析など、大量データを用いた統計解析にも力を入れています。

その他、企業で研究員として働く傍ら、東京大学農学生命科学研究科で研究員として勤務し、大学院生の指導や非常勤講師の仕事も行ってきました。

情報大学に非常勤講師として来た

のは冬でしたが、とても雪が多く一面真っしろだったのを覚えています。

大学の印象...

4月に来てみたら立派な建物が完成していて驚きました。図書館など、施設も近代的で利用しやすいと感じました。静かで落ち着いて学問に励める環境ではないかと思っています。緑が多く、(今のところ)気候も涼しくて東京にいたときと比べ非常に過ごしやすいです(冬は大変そうです...).

今の季節は、研究室の窓を開けると虫が山ほど入ってくるのが難点です。学生に関しては、学力の分散が大きいという印象を受けましたが、素直な人が多く講義や演習も楽しくやらせてもらっております。

教育への抱負...

バイオインフォマティクスは医学、生物学的なデータをとり扱います。取り扱うデータの量は測定機器等の技術革新により益々増大しており、

医療、製薬、食品等の企業ではこうした情報をいかに有効に製品開発に結びつけるかが重要な課題となっております。また、ゲノムシーケンサが安価に提供され始めたことにより、近い将来個人のゲノム情報が管

理される日が来ることになると思われています。

個人のゲノム情報は究極の個人情報であり、このような重要な医療情報を正しく取り扱うことのできる人材は、今後益々重要な存在になってくると考えられます。

バイオインフォマティクスの専門教育に関しては、医学生物学分野における様々なデータ処理という観点から、演習を重視した実践的な教育を行えればと考えています。

生命科学、情報科学研究と実社会との関わりやビジネスの現場での様々な問題解決の実際を語ることにより、この分野に興味を持って知識、技術を蓄積していつてもらえればと考えています。

情報大学に来て三カ月経ちだいぶ慣れてきましたが、まだまだわからない点なども多く、先生方、職員の方々にはご迷惑をおかけしています。未熟な私ではございますが、大学の発展と教育、研究に邁進する所存です。

ご指導のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



## 自己紹介

医療情報学科講師 田中 里実

この四月に医療情報学科に着任しました。田中里実です。担当科目は一年生の日本語表現Iと、留学生の日本語科目です。留学生の日本語科目は、非常勤講師として三年ほど前から担当しているので、廊下ですれ違ったことのある方もいるかもしれません。

実は、情報大学と私の関係はその三年前よりもっと前から始まっていました。というのも、私は情報大学のとなりの野幌中学校、そして野幌小学校のOGなのです。実家が野幌中学校よりも北広島寄り、農家の多い地域にあり、私が小学生くらいのころはまだ道路の幅も片側一車線、街灯もうす暗く、夜になると六等星まで見える星空が広がっていました。自然環境という意味ではとても良かったのですが、野幌の駅前に出るためのバスの本数も数時間に一本で、習い事に通ったり、友達の家に遊びに行ったりするには、不便な場所でした。そんなある日、高速道路の近くで工事が始まりました。そして、あつというまに大学ができ、バスの本数も増えました。人通りも多くな

って、なんだか自分の住んでいるところが急に都会になったような気がしました。中学を卒業して、札幌に通うようになると、毎日情報大学の前を通ることになりました。そんなふうにして、情報大学とのご縁は始まりました。

私は、移動手段の少ない場所に育った反動か、外国や英語が好きでした。高校、大学と何度か交換留学や語学留学を経験し、いくつかの言葉と、いくつかの故郷のような場所、いろいろな国籍の友人を持つようになりました。最初の留学では、海外との通信手段はもっぱら国際電話、それもかけ方を知らずに渡航してしまったので、寂しくてもひたすら我慢するしかありませんでした。それが、世界がネットにつながるようになり、留学の手続きがメールになり、留学先の学校のカリキュラムやシラバスも日本からネットから見ることができるようになりました。実家との連絡も、チャットからボイスチャット、そして動画つきのボイスチャットができるようになりました。祖父母が喜んだ反面、実家とオンライン

ンでつながった瞬間に電話すらかけられなかった頃のような緊張感が緩んでしまうような感覚もありました。今でもネットの功罪、といわれるとその時の感覚を思い出さずにはいられません。

日本での情報から想像していたことと、自分が実際に目で見たことのギャップに驚くことも多くありました。なかでも、日本で今のようなきさの持ち歩くのに不便ではない携帯電話が出はじめたころ、日本より進んでいると思っていたアメリカのホストファミリーが、肩からかけるショルダーバッグのような大きな携帯電話を持つていたのは衝撃的でした。数年前、トルコへ行ったときには、中東へ来たと思っていたのに、ホームステイの家はアメリカのようで、街はモスクを除いてはヨーロッパのようでした。でもしよつちゅう停電したりもして、中国と韓国と日本が東アジアという一言ではくれないのと同じように、中東も色々なのだなと思いました。

これまでいろいろな言葉を習い、いろいろな旅をしました。人は、二十五歳までに経験したことの檻の中で一生生きていくものだそうです。ということ、ここまでつらつらと書いてきたことが、私の檻ということなのでしょう。私がトルコをヨ

ロッパの「ようだ」と感じるのも、ヨーロッパへ行つたのが二十五歳前、トルコへ行つたのが二十五歳より後だからかもしれません。また、どんなにすばらしいものを見ても、自分が言葉で表現できないことは感じ取れないものだと聞きました。私は年齢の点ではもう檻の中ですが、言葉の檻の方はこれからも広がっていくつもりです。学生の皆さんはまだまだどちらの檻も鍵がかかっていませんよね。日本語の科目で私も少しは皆さんの檻を広げるお手伝いができる、と思っています。よろしくお願います。





## 非効率の効率性

情報メディア学科教授 守 啓祐

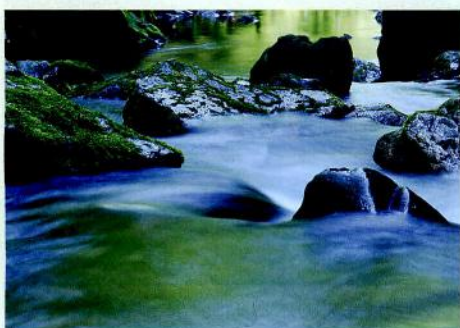
4月より情報メディア学部に着任しました守啓祐です。

1962年九州福岡生まれ、大学では電子工学を学んできました。その後、大学院、助手時代には、音声の認識合成に関する研究を専攻いたしました。具体的には音声を線形予測法と呼ばれる計測手段でモデル化する研究と直接舌等の動きを計測する装置の開発と分析を行ってきました。この分析に生体計測の医用画像計測を行うようになりました。音声分析、画像分析と分野が違うように感じるかもしれませんが、ディジタル処理技術としては、一次元か二次元か、次元の違いだけでデータの取り扱いはほぼ同じです。その後、音声や画像をはじめセンサ等で認識した情報を基にコンピュータを操作する研究を行い、博士論文はこの分野で提出いたしました。

大学関係以外では、電力需要予測や屋外監視画像の計測のため九州電力と共同研究を行い企業の方の考え方も体験できました。研究以外にもコンピュータやネットワークの敷設等も経験させていただき、研究用システムのようにデータを取るために一発勝負で動けばよいシステムと安定に運用するためのシステムのバランスの取り方を経験いたしました。研究用システムの利用者は自分である場合が多く他人が利用する意識が薄いですが、利用者が何をしたいかサービスを利用するのかという考えを経験させていただき立場の違いによる考え方の違いを理解するには非常に有益な経験でした。

色々な分野に手を出していたため大学院時代の指導教員に「君の専門は何か説明できるようにしておかないといけない」と苦言をもらいましたが、様々な分野や方面に参画させていたことは他分野の人の話を聞く機会が出来、非常に有益でした。若干回り道にはなっていますが、それなりに地力がついたのではないかと感じています。

学生の諸君には、大学で学ぶ内容は評価の確定していない事項も多いので、正解は一つではないこと、時期によってまたその適用範囲によって妥当な解は異なることを理解してください。社会に出て行くと一つの正解があるわけではありません。しかし他者とコミュニケーションを取り納得してもらえただけの根拠を説明できればその時点では正解です。問題は妥当な方法がいつもよい結果がえられる訳ではないと言うことです。加えてチャンスは突然やってきます。日頃からチャンスを見逃さず、チャンスに対応できるだけの不断の努力を積むことが重要です。ともに研鑽をつみましょう。





性は、推  
進されて  
おり、そ  
れに伴う  
多様な政  
策が実施  
されてい  
ます。例  
えば、観  
光庁によ  
る「観光  
立国推進  
基本計画」  
では、「訪

日外国人旅行者数の増加」や「国内旅行に  
おける宿泊数の増加」の目標が掲げられて  
おり、様々なイベントキャンペーンや広告  
キャンペーンが実施され、その効果が次第  
に表れ始めています。これらのキャンペーン  
の実施によって、2008年には訪日外  
国人旅行者は過去最高を記録していますが、  
その伸び率は鈍化しており、いざれ頭打ち  
になることは明らかです。また、キャンペ  
ーンによって従来型のマストツーリズムを嗜  
好する旅行者の発掘は実現できましたが、  
近年は、個人旅行の増加、グリーンツーリ  
ズムやサステイナブルツーリズムといった  
思想的ツーリズムが出現し、更に、平成18  
年度の経済産業省が実施した「ITを活用  
した観光情報提供の在り方に関する実態調  
査」では、ノープランの観光客が増加して  
いることが報告されるなど、観光の趣味趣  
向や実施形態は千差万別化してきています。  
これら個々に対して観光地としての魅力を  
高めりピート率の増加を実現できなければ、  
今後の発展は望めない状況になってきてい  
ます。

め、今後  
日本の観  
光地とし  
ての魅力  
度を高め  
観光分野  
の活性化  
を目指し  
た研究を  
実施して  
いくため  
には、基  
礎的なデ  
ータとなる、外国人が持つ訪日観光に対す  
るイメージや要望、外国人旅行者の観光形  
態、更には、IT先進国である米国におけ  
る観光分野におけるITの活用方法につ  
いて調査する必要があると考えていました。  
そこで、長期海外研修に応募し、本学学生  
の短期留学プログラムの提携校であり、ア  
メリカを代表する観光地の一つであるシア  
トルにも近い、LWTCでの長期海外研修  
の許可を頂くことができました。  
研修では、外国人の訪日観光に対するイ  
メージや現状、観光地として多くの外国人  
旅行者が訪問するアメリカにおける観光事  
情の調査などを行いました。LWTCは、  
ITに関するコースだけではなく、経営や  
医療など多様な分野に関するコースがある

# 長期海外研修報告

システム情報学科 准教授

長尾 光悦

平成22年5月18日から平成23年2月21日  
までの約九カ月間、アメリカ・ワシントン  
州・Lake Washington Technical College (L  
WTC)において長期海外研修を受けさせ  
ていただきました。私は、観光分野を情報  
科学技術によって支援することを目的とし  
た学術分野である「観光情報学」に関する  
研究を行っています。現在、観光庁が設置  
されるなど、国家戦略として観光産業の活

そのた  
め、今後  
日本の観  
光地とし  
ての魅力  
度を高め  
観光分野  
の活性化  
を目指し  
た研究を  
実施して  
いくため  
には、基  
礎的なデ  
ータとなる、外国人が持つ訪日観光に対す  
るイメージや要望、外国人旅行者の観光形  
態、更には、IT先進国である米国におけ  
る観光分野におけるITの活用方法につ  
いて調査する必要があると考えていました。  
そこで、長期海外研修に応募し、本学学生  
の短期留学プログラムの提携校であり、ア  
メリカを代表する観光地の一つであるシア  
トルにも近い、LWTCでの長期海外研修  
の許可を頂くことができました。



シアトルマリナーズの本拠地Safeco Field

## INTERNATIONAL PROGRAM



お世話になったInternational Program Officeのスタッフ  
(左から、スーさん、キャシーさん、ゲリーさん)

ため、学生の年齢層が幅広く、更に、多様な人種の学生が学ぶ大学です。そのため、アメリカはもちろんのこと、韓国、中国、ロシア、メキシコ、タイなど多様な国籍を持ち、年齢も多様な学生への聞き取り調査を行うことができました。また、LWTCの教員と、観光に必要とされる情報や技術に関してディスカッションを行い、自身の研究に関連する貴重な情報を得ることができました。現在、東日本大震災の影響により、日本の観光は大きなダメージを受けています。日本の観光が早期回復できるように、今回の研修成果を基に研究活動を進めていきたいと思っております。

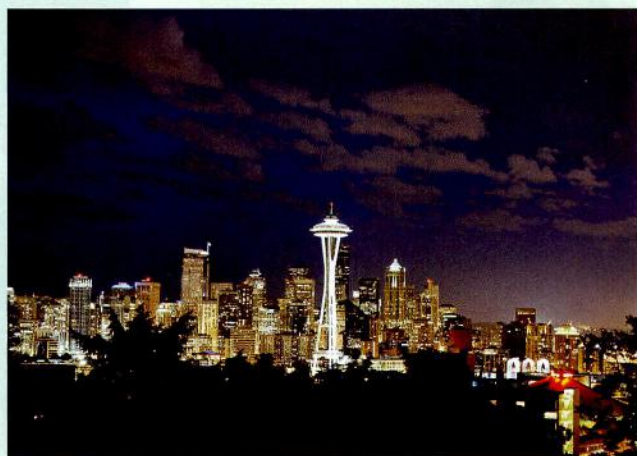
また、今回の長期国外研修は、研究のた

めだけではなく、今後の情報大学における教育を考える上でも有益な知見を得ることができました。研修初期の二か月間、LWTCにおけるIntensive English Program(留学生に対する集中英語教育プログラム)を受講する機会を得ることができ、海外大学における教育方法についての知見を得ることができました。少人数クラスでの教育体制、詳細なスケジュールや厳密な成績評価の学生への提示、講義におけるITやメディアの利用方法、学生が積極的に講義に参加しなければならぬように構成された講義内容、一つの内容を学習するための多角的なカリキュラム構成など、情報大学における教育を考える上で参考になる情報を多く得ることができました。

海外研修への出発前は、アメリカの治安について不安な部分が多かったのですが、ワシントン州・カークランド付近は、アメリカの中でも比較的治安が良い場所で、夜間の行動や、公共交通機関の利用に関しても問題のない場所でした。また、ワシントン州は人種構成が多様であるためか、皆フレンドリーでした。気候も緯度の割に温暖で、研究生活のための環境として、非常に良い場所でした。

英語力が不足していたため、一〇〇%のコミュニケーションが取れない中、家の賃貸、車の購入など大変なことも多くありましたが、それらも含め非常に良い経験をす

ることができました。また、長期間の研修をさせて頂けたので、独立記念日、感謝祭、クリスマス、新年など楽しいイベントも



ケリーパークからのシアトルの夜景

体験することができ、休日には、マリナーズ観戦やマウント・レーニエ国立公園へのドライブなど、観光もさせて頂きました。今回の長期海外研修によってシアトルは私の海外にある第二の故郷となりました。最後にになりましたが、アメリカで長期間に渡り、新たな知識や経験を得ることができたことは、今後の研究・教育活動にとつて非常に有益なものとなりました。このよう貴重な機会を与えて頂きました、理事長、常務理事、学長、副学長をはじめとする関係各位に感謝を申し上げます。また、研修中にお世話になった、LWTCの教員の方々、International Program Officeのスタッフの方々にも感謝いたします。

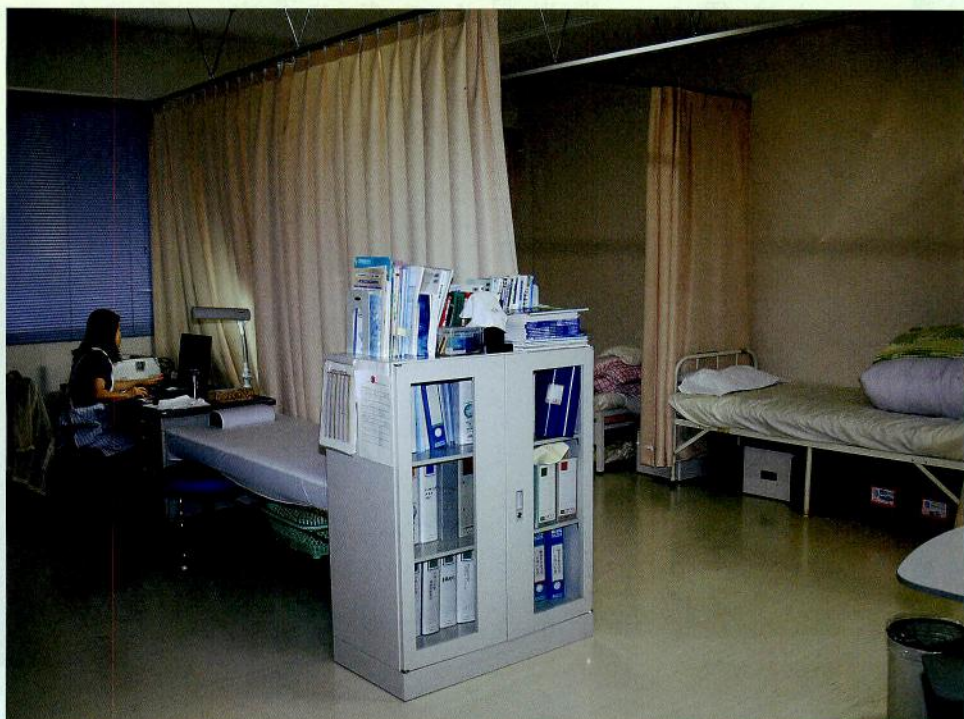
→ 教務課、大学院課、  
その奥が入試課です。



### 学生総合事務局概要

平成23年3月17日にeDCタワーの竣工式を終え、同年6月27日より、それまで図書館として使用されていた松尾記念館1階へ、学生に関わる7つの部署が学生総合事務局として移転しました。学生総合事務局には教務課、大学院課、入試課、学生サポートセンター事務室、国際交流留学生支援事務室、保険センター、広報室があり、利用者の立場に立った総合的な学生サービスの充実や、学内外等様々な利用者の利用目的に応じた利便性の高い環境の提供を目指しています。

# い事務局、紹介します



保健センター(医務室)



↑ 学生サポートセンター

就職コーナー。学生サポートセンターの →  
奥にあります。資料もいろいろ取り揃え  
ています。



↑ 国際交流・留学生 支援事務室

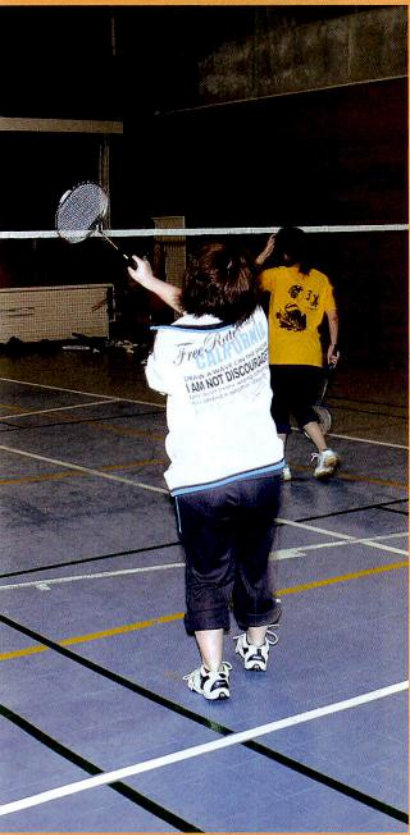
新し



広報室

# 体育祭

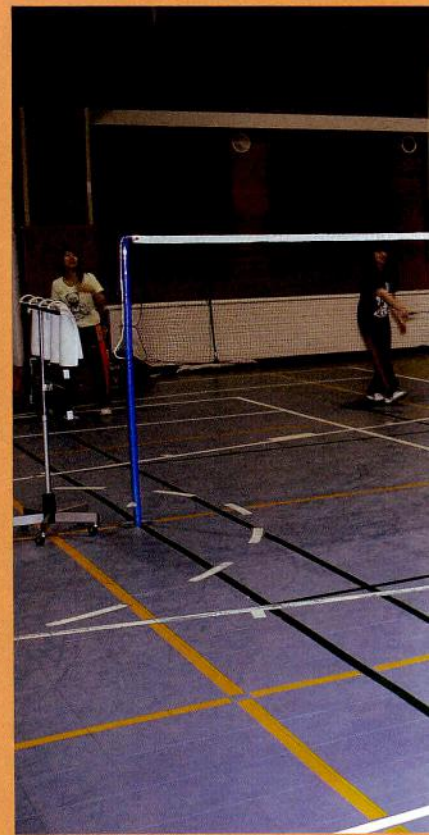
(金)～  
25日(土)



第23回体育祭が、6月24・25日の両日、構内で行われました。期間中は天候が不順で、一部の競技に影響も出ましたが、2日目終了後の恒例の「ジンギスカンパーティー」まで無事故で終えることができました。

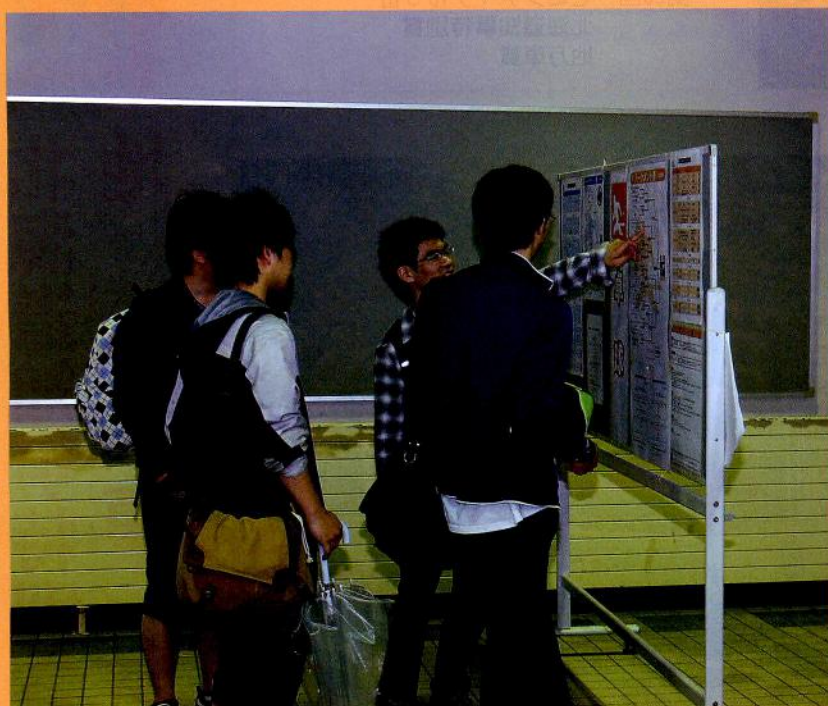
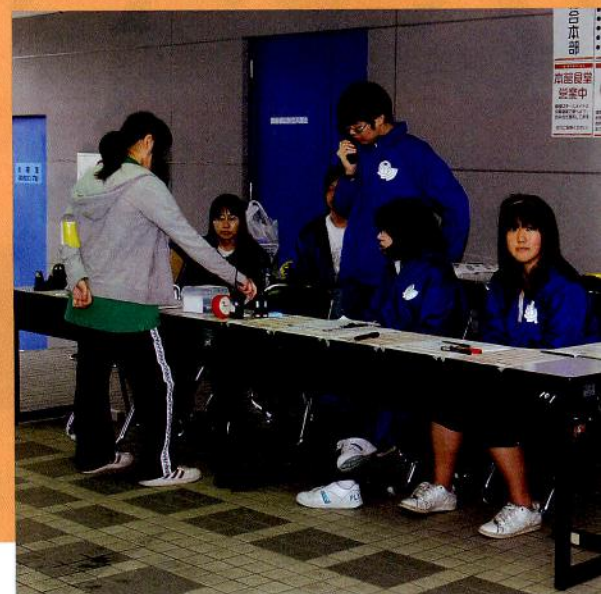






### ◎競技種目

- ・ソフトボール
- ・サッカー
- ・男子バドミントン
- ・女子バドミントン
- ・男女バレーボール
- ・ドッジボール
- ・卓球
- ・ストラックアウト



# 第20回 YOSAKOIソーラン祭り



## 江別まっことええ & 北海道情報大学

6月10日(金)から12日(日)の三日間に  
かけて行われた、YOSAKOIソーラ  
ン祭り。今年は第二十回目という節目に  
当たり、メンバーもいつも以上に意気込  
んで参加しました。残念ながら五年連続  
のファイナル進出は逃しましたが、強豪  
がひしめくセミファイナルで三位を獲得  
他に北海道知事特別賞、地方車賞も受賞  
しました。

### ■最近5年間の戦績■

- 第16回 ファイナル5位  
札幌市長賞  
日本ファッション協会理事長賞
- 第17回 ファイナル10位  
ソーラン節のふるさと積丹町賞  
地方車賞
- 第18回 ファイナル8位  
札幌商工会議所会頭賞
- 第19回 ファイナル進出  
優秀賞
- 第20回 セミファイナル3位  
北海道知事特別賞  
地方車賞

# セミファイナル3位

北海道知事特別賞  
地方車賞





## 北海道情報大学 就職情報サイトが「i-Job(あいじょぶ)」として リニューアルしました！

### ● JOB2からi-Jobへ！

このたび本学の就職情報サイトがリニューアルし、「i-Job(あいじょぶ)」として生まれ変わりました！これまで長く親しまれてきた「JOB2(じょぶ2)」は10年以上前に制作されたもので、使い勝手やデザイン面等を考慮した結果、サイト名も新たに今回のリニューアルと相成りました。

### ● i-Jobとは…

i-Jobのiには、いくつかの意味が込められています。私のI、インフォメーションのi、インターネットのiであり、ネーミングからサイトの持つ特徴を表すようにしています。このサイト名から全体的なページデザインに至るまで、ホームページのほとんどすべてをプロデュースしてくれたのは、安田ゼミに所属する小野啓太君、徳永雄大君、佐々木卓也君、谷口敦美さん4名の学生です。

i-Job内の求人検索のページは専門の業者が制作を手掛けたため調整の難しさや、また学生サポートセンターからの様々な要望に応えることは大変な面もあったかと思いますが、丁寧に対応を行ってくれ就職の情報サイトにふさわしい爽やかなイメージに仕上げてくださいました。

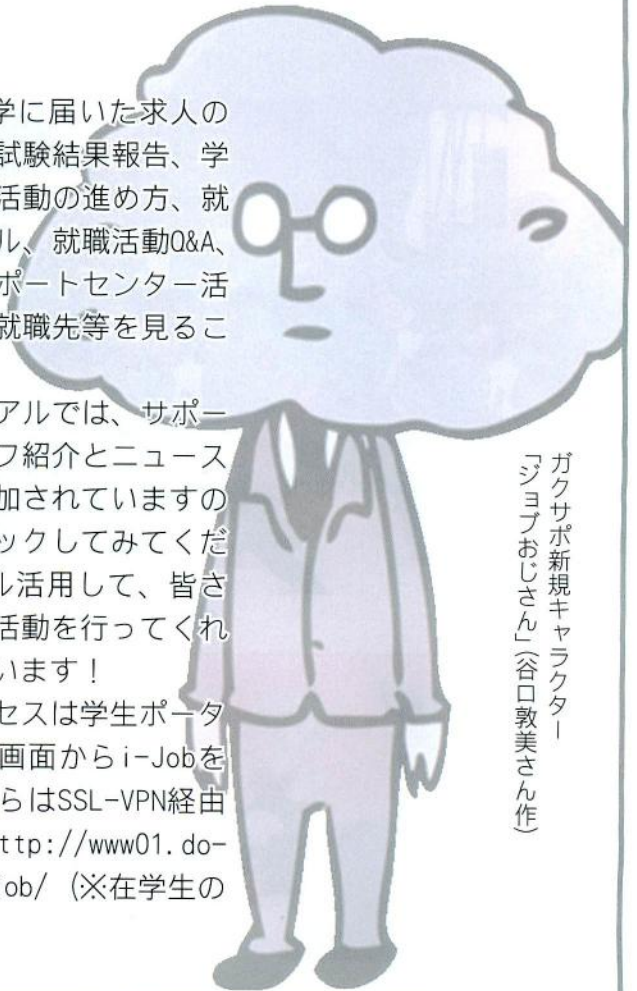
リーダーの小野君は「グループでのホームページ制作を通じて得た経験は大きい」と話してくれました。

### ● i-Jobの機能

i-Jobでは、本学に届いた求人の検索や先輩の就職試験結果報告、学内試験情報、就職活動の進め方、就職指導スケジュール、就職活動Q&A、内定状況速報、サポートセンター活用方法、卒業生の就職先等を見ることができます。

今回のリニューアルでは、サポートセンタースタッフ紹介とニュース&トピックスが追加されていますので、ぜひ一度チェックしてみてください！i-Jobをフル活用して、皆さんが有意義な就職活動を行ってくださることを期待しています！

学内からのアクセスは学生ポータルサイトのトップ画面からi-Jobをクリック、学外からはSSL-VPN経由でどうぞ。URLは、<http://www01.do-johodai.ac.jp/i-job/>（※在学生のみ閲覧可能）です。



ガクサポ新規キャラクター「ジョブおじさん」(谷口敦美さん作)



安田ゼミに所属するi-Job制作メンバー  
下段左から佐々木君、小野君、徳永君

# 粘り強さが肝心! 夏からの就職活動



企業・病院説明会の様子



大学説明会・特別講演の様子

7月25日(月)に京王プラザホテル札幌にて、企業・病院説明会及び大学説明会を開催しました。

企業・病院説明会では、企業や病院の人事担当者の方々から就職活動中の4年生を対象に、各ブースにおいて企業・病院説明を行っていただきました。

大学説明会では、企業、病院、高校から数多くのご参列をいただきました。長谷川淳学長が大学説明、中村忠之就職部長が特別講演を行いました。

## 「景況感 夜明け前」、「震災後も積極姿勢」

現在就職活動中の学生の皆さんは、今年の採用状況の厳しさを肌で感じているところかもしれませんが、1年生～3年生の皆さんも、自分達が就職活動を迎える際に、景気はどうなっているんだろう?と気にかけている人も多いと思います。そんな皆さんに先ず景気に関する明るいニュースをお伝えしたいと思います。

6/20付の日本経済新聞に今春の採用計画について、大卒採用は13.7%増、2ヶタ増は4年ぶり、震災後も企業の採用意欲は衰えていないという記事が掲載されました。

他にも7/2付の朝日新聞に6月

の日銀短観に関し、震災の影響で大きく落ち込んだ半面、秋にも回復軌道に乗る兆しが見えたとありました。

さて最後は必ずしも明るい話題とは言えませんが、(株)リクルートワークス研究所から、現4年生の大卒求人倍率は1.23倍と、前年の1.28倍よりわずかに低下という調査結果が発表されました。昨年よりわずかに低い数字となったものの、この調査結果は、例えば景気が非常に冷え込んだ1996年や2000年ほどには2012年卒学生の求人倍率は落ち込まないということを示しています。

## 夏からの就職活動はどれだけ粘れるかがポイントに

4年生の皆さんには先日の就職ガイダンスの際にもお伝えしましたが、夏からの就職活動は「粘り強く、諦めずに続けること」が最重要キーワードになります。

私たち学生サポートセンターの就職担当は、粘り強く活動を続けた先輩たちがチャンスを掴んで内定を獲得し、卒業していくという場面を毎年数多く見えています。そういった先輩たちに共通しているのは諦めない心です。

心が折れそうになった時は学生

サポートセンターに来て下さい。一人で悩まず誰かと話すことで解決策を見出せたり、動き出せるきっかけが出来たりするものです。

1年生～3年生の皆さんも、夏休み中に世の中にどんな仕事があるのか調べる(業界/企業研究)、就きたい仕事について考える(自己分析)ことをお勧めします。リニューアルした就職コーナーでは就職に役立つ各種DSソフトも貸し出しています。ぜひ一度足を運んでみてください!



学生によるポスターセッション

# 留学生の企業見学

外国人留学生委員会委員長

竹内 典彦

6月30日木曜の午後、私と、国際交流・留学生支援室の今長室長は、留学生十一名を引率して、札幌市内中心部の日本旅行北海道と北海道銀行を訪問しました。日本語の習熟度が要求される活動です。今回見学した留学生は、大学院生と四年生の中から希望者を募りました。

今回の企業見学は、昨年が続いて第二回目です。

札幌商工会議所が編集した留学生の企業就職の冊子を参考にし、元留学生が就職している職場を訪ね、その業務内容や経験談を聞かせていただくことと企画しました。なお札幌商工会議所の安井課長に、企業との仲介をとっていただきました。

最初に訪れた日本旅行北海道

では、業務部の佐藤課長による、会社の沿革や事業内容の説明がありました。日本旅行の業務内容や震災の影響等を詳しく説明していただきました。その後、中国ご出身の鄭さんと王さんにもお話を伺いました。大学での勉強から就職のための準備や活動、そして現在の仕事に至るまで、様々なことを聞かせてもらいました。本学の留学生も日本語、そして時には中国語で、積極的に質問をしました。有意義なディスカッションを持つことができました。

次に訪れた北海道銀行では、国際部中国室の山崎マネージャー、国際部中国室の張さんが中心となって、北海道銀行の各所に案内もしていただき、様々な業務内容や施設について知ることができました。人事総務部の松原さんからは、北海道銀行の会社規模や、中心となる事業についてのレクチャーも受けることができました。張さんからは国際部中国室でのご自分の業務の内容、また中国における支店開設事業に関わった様子等を聞くことができ、貴重な経験を得ることができたと思います。張さんからは、中国語を交えて、ご自身の経験を話していただき、留学生にとってはたいへんよい刺激となったようです。

おかげさまで、二回目の企業見学ですが、たくさんさんの収穫を得ることができ、成功を収めること

ができました。留学生にとっては、特に日本語学習の重要性を再認識する機会にもなりました。今回お世話になりました、日本旅行北海道様、北海道銀行様、そして仲介の労をとっていただいた札幌商工会議所様には心から感謝しております。ありがとうございました。

以下、参加した留学生のうち四名の感想文を紹介します。

孫 郁

6月30日、僕たちは日本旅行北海道と北海道銀行の二つの会社を見学させていただく機会があり、札幌市にある二つの会社の本部へおじゃまさせていただきます。

待ちに待った会社へ着くと、社員が笑顔で迎えてくれて、今でもその笑顔が心に残っている。まず、日本旅行北海道を見学した。見学を通じて福島の原発事故による旅行会社の被害の状況は多少わかるようになった。

次は北海道銀行に行った時、結構立派だと思っただが、社員が「弊社は大きい会社ではない」と言っていた。全然信じられなかった。今年、北海道銀行は六十周年を迎えた。日本の大地震のために六十周年の祝賀イベントをキャンセルした。イベント

のためのお金を被災地に寄付した。本当に偉いと思う。

見学を通じていろいろなことが勉強になった。本当にうれしかった。

姚 珍珍

先日、私たち四年生と大学院の先輩たちは、日本旅行北海道と北海道銀行へ見学に行きました。いろいろと勉強になりました。まず、それぞれの会社の概況について、簡単に説明を受けました。それから、私たちの質問について答えてもらいました。両社ともに、今回の地震の影響について、それぞれの状況にもふれてくれました。

そして両社とも、そこで働いている中国人がいます。この中国の人たちも話をしてくれました。なにか懐かしさを感じました。三人とも、日本にやって来た事情やその後の状況を説明してくれました。とても感心しました。日本に来た最初の頃はたいへんだったそうです。勉強も生活も。しかし、これは当然のことだと思います。三人とも北海道の大学を卒業しました、そして日本に就職しました。日本に来てもう十年くらい経つそうです。三人の日本語がとても上手で、日本人みたいです。これには羨ましく思いました。いつか私の日本語が彼らのレベルまで到達するでしょうか。

そして、北海道銀行に勤めている張さんが、「就職はどこでも同じです。今、苦勞に耐えられるなら、将来はもっと苦勞に耐えられる。」この言葉は私にとって一番印象的でした。

王 晨

今回は日本旅行北海道と北海道銀行を見学しま

した。以下は自分としての感想です。

まず、今回の見学はとても面白かったですけど、人生の中のとたいへん大切な経験だと思えます。二つの会社ともよい会社でした。日本旅行北海道は面白くて、親切な会社だと思いました。サービスの質もよさそうでした。

北海道銀行についてですが、銀行の業界は厳しいです。日本にはたくさんさんの銀行があります。ですから自分の銀行は自分の文化を持つことがとても大切です。私は見学をした時、いろいろな質問をしました。そしてたくさんさんのことを学びました。本当によかったと思います。

朱 啓磊

今回の企業見学では、いろいろなことを学びました。現在日本で就職している留学生の先輩たちは日本語がすごく上手です。彼らは学生時代に一生懸命がんばりました。自分の力でいい仕事をしています。輝かしい人生を生きています。自分の力で競争して、素晴らしい未来を切り開くために、毎日毎日頑張り続けていると思います。



### 企業見学アンケート集計

(回答数11名)

Q1 今回の企業見学はどうでしたか？

1. とてもよかった 5
2. よかった 5
3. 普通 1
4. あまりよくなかった 0
5. とても悪かった 0

Q2 二社を見学しましたが、もっと多くの会社を見学したかったですか？

1. もっと多くみたかった 6
2. ちょうどよかった 4
3. 一社でよかった 1

Q3 一社あたり一時間くらいのスケジュールでしたが、時間はどうでしたか？

1. もっと長くてよい 1
2. ちょうどよい 10
3. もっと短くてよい 0

Q4 企業見学は一年に何回くらいあればよいですか？

1. 二回かそれ以上 8
2. 一回 3
3. なくてよい 0

Q5 今回は、留学生出身の人が勤めている企業の中から、銀行とコンサルティング等多角的経営の会社を見学しましたが、この選択はどうでしたか？

1. とてもよかった 5
2. よかった 6
3. 普通 0
4. あまりよくなかった 0
5. とても悪かった 0

Q 6 今後見学するとしたら、どのような業種の会社を見学したいですか？（複数選択可）  
 具体的会社があれば、最後に書いてください。

1. IT系 4
2. 旅行者 2
3. 販売業 0
4. ホテルや観光産業 4
5. 銀行等金融関係 3
6. サービス業 3
7. その他（料理店、ゲーム業）  
 具体的会社名(三菱)

- Q 7 その他感じたことがあれば書いてください
- ・自分の力ががんばるしかない。
  - ・中国人が日本に就職するには日本語が一番重要だ
  - ・これから日本語を一生懸命勉強する
  - ・日本企業で勤めている人は日本語が上手でうらやましい。私もがんばる。
  - ・北海道銀行の見学時間はもっと長くてもよかった。
  - ・日本の会社で就職している留学生たちがうらやましい。日本の会社に就職したいけど、自分の日本語はまだまだです。
  - ・日本で就職するのは難しいと思った。

## 学生サポートセンターより

# 保護者の会役員会を開催

今年度一回目の保護者の会役員会を5月30日(月)に、新築されたばかりのeDCタワー二階カフェレストランにおいて開催しました。

最初に、長谷川学長から新しい教育プログラムのもとで人材の育成に努めている本学の現状に触れられ、あわせて役員の皆様に対するお礼を含めた挨拶がありました。その後、新規役員八名(一年生の各学科・専攻二名ずつ)と欠員となっていた一名の役員を選任し、各出席者から、ご子息にかかる期待と愛情のこもった自己紹介等が行われました。

ついで、本学の現況、就職、学生生活、学生行事などについて、中居常務理事、中村就職部長、梅津学生部長及び田中学生サポートセンター事務室長から、それぞれ報告説明がありました。

会議終了後、eDCタワーの見学が行われ、特に図書館の自動書庫に関心が集まり、また各階の学習環境等のすばらしさや夕焼けに染まる景色の展望に感嘆の声が上がっておりました。

その後、懇親会においては、レストラン自慢の料理に舌鼓をうちながら、時間の経つのも忘れ、なごやかに懇談が行われました。

役員の皆様には、ご多忙にもかかわらずご出席いただき、貴重なご意見等をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。



# 北海道情報大学 入学式



## 南京大学からIT・日本語クラス五期生が本学に編入学

国際交流・留学生支援事務室 室長 今長 豊

平成19年から実施している、中国南京大学と本学との共同事業『IT・日本語クラス』の五期生二十一名が、平成23年4月、晴れて本学情報メディア学部三年次に編入学しました。

この共同事業は、南京大学と本学との協定に基づき、まず南京大学で二年間ITと日本語の基礎を勉強します。その後、本学情報メディア学部三年次に編入学して二年間、専門科目を修めて本学を卒業し学士の学位を目指すというものです。

彼らは、今年の3月16日に日本へ来ました。その五日前の3月11日に、東日本大震災が発生して中国でも連日テレビや新聞でつなみや原子力発電所の被害の様子が報道されていました。日本在住の多くの外国人は日本を離れ、母国に戻りました。そんな状況下で五期生二十一名は家族や友人達の心配する中、自分の意思で日本行きを判断しました。彼らの勇気と送り出してくれたご家族のご理解に、敬意を表したいと思います。

ぜひ、これからの留学生生活を有意義なものにしてもらうことを期待しています。

世界が注目する、未曾有の国難に遭遇した日本での留学は、学生達にとっては貴重な体験となるでしょう。

入学式で留学生代表として尹波(Yin Bo/いんは)君が述べた宣誓文を紹介します。



### 宣誓

私たち、南京大学外国语学院、IT・日本語クラス五期生の二十一名は、今日、ここに、晴れて北海道情報大学の、入学式に参加することができました。

この二年間、南京大学で、日本語やITに関する科目を中心に学び、留学するために、中国で短期大学の卒業試験や、日本語能力試験など、さまざまな試験を受けてきました。

本日、この日を迎えることができ、うれしく思います。

私たちは、先月16日に日本へ来ました。中国で留学の準備をしているときに、日本での大地震、つなみ、原子力発電所の事故のニュースを知りました。それまでの留学に対する期待と不安に加え、別の大きな不安が襲ってきました。

家族や友人たちが心配する中、私たちは自分の判断で日本行きを決めました。

千歳空港に着き、大学の寮へ向かうバスの中から見る景色は、不思議な感じを受けました。

暖かくまぶしい太陽の光に照らされて、冷たいはずの残雪が輝いていました。街中は清潔で澄んだ空気が冷たく新鮮でもとても美味しく感じました。中国を離れるときの不安がうそのようです。

世界中が注目する大災害にあり、そのような困難にも負けずに立ち向かっていく日本で留学できることをチャンスだと思い、さまざまなことを学びたいと思います。

一日も早く日本の生活に慣れ、多くの友人もつくりそして、IT技術者や、研究者を目指して頑張ります。自分の夢を叶えるために努力をし、これからの留学生生活を、実りあるものにするのを、お約束して、留学生代表の、ことばと致します。

2011年 4月5日

留学生代表 尹波(いんは) Yin Bo



## 留学生 春の宿泊研修報告(道立足寄少年自然の家)

国際交流・留学生支援事務室室長 今 長 豊

平成23年6月4日(土)から6月5日(日)、外国人留学生と日中異文化研究サークルの学生、引率教職員の総勢七十名が道立足寄少年自然の家で宿泊研修を行いました。

研修初日の4日は有名製菓店が多く集まっている帯広駅周辺の商店街で「スイーツめぐり」を行いました。そこでの研修テーマは日本語の製菓店案内マップを読み、お店を探し、店員さんと直接会話しながら自分の好みのお菓子を五店舗で五品購入することでした。皆さん、楽しく美味しさを満喫しながら散策していました。

宿泊施設の道立足寄少年自然の家は十勝平野の丘陵を眺望する豊かな自然環境に位置しています。施設に着くとすぐ入所式がありました。そこで係りの方より、この日宿泊予約が入っていた他の団体客は全てキャンセルされたことを知らされ、情報大は貸切り状態で施設を利用させていただくことになりました。体育館でのさまざまなスポーツで汗をかき、お風呂もゆとりをもって利用することができました。

研修二日目の5日は6時に起床し、各自の部屋、共同トイレ、洗面所、お風呂などの清掃を行い、係りの方のチェックを受けました。一回のチェックで合格し且つ、お褒めの言葉までもらうことができ全員で協



力して清掃した大きな成果でした。  
 宿泊研修施設利用時のモットーである「来たときよりも美しく」を実践することができました。

帰りの行程では、アイヌ語で「大きい沼」あるいは「年老いた沼」という意味のオンネトーを散策しました。陽光の加減で、エ

メラドグリーンやコバルトブルーに変化する湖面はとても神秘的でした。その後、阿寒湖畔エコミュージアムセンターを見学し、自然環境保護の大切さを学んだ後、阿寒湖を眺めながら皆でお昼のハンバーガー弁当を美味しくいただきました。行程の最後にアイヌコタンを見学し、地元の方達とも触れ合うことができました。

今回の一泊二日の道東方面の研修旅行で見かけた他団体の大型貸切バスは二、三台でした。東日本大震災の影響で北海道の観光客が激減しているニュースを実感することになりました。

今回の宿泊研修は本来の目的である「集団行動時のマナー学習など」に加えて、被災後の日本でも留学生たちは、安全な場所で元気に生活していることを、中国に居る家族や南京大の関係者の皆様たちにも知ってもらい、心配や不安な気持ちを少しでも軽減してもらおうことでもありました。

おかげ様で、無事に楽しく宿泊研修を終えることができ、留学生にとっても有意義な二日間を過ごすことができたと確信しています。今後は様々な機会を通して、留学生の元気な様子を国内外に情報発信していきます。





## 「第2回 留学生の日本語弁論大会」について

システム情報学科教授 玉置 重俊

去る6月18日(土)に、本学の外国人留学生委員会の主催で、「第二回 留学生の日本語弁論大会」が盛大に開催された。ここにその状況について、具体的に報告したいと思う。

この弁論大会を開く目的は、もちろん留学生の日本語能力を向上させるという面もあるのだが、それ以上に、本学の教職員や学生に、留学生諸君の日本語能力や活動実態そしてものの考え方などに対して、少しでも関心と興味を持つてもらい、常に留学生の大学生生活を温かく応援して頂くという面も、極めて大きいのである。

当日は、本学の1115教室で午後一時半から、二十名の学部四年生中国人留学生がそれぞれ熱弁を振り、日本語力を競い合ったので、その詳細な内容を書いてゆこう。会場には、十名前後の教職員、数名の日本人学生と三十名以上の中国人留学生が見学に来ていた。司会進行係は、国際交流・留学生支援室の小黒さんが担当し、開式の挨拶は、外国人留学生委員会の玉置が行った。その後は、早速四名の審査委員(委員長は飯嶋先生)が紹介されて、弁論大会の幕は開けた。

私も、審査委員の一人として、留学生各自の発表を聴いたが、とにかく彼らの日本語の発音が本当に正確だった



ことに、とても驚いた。彼らの流暢で美しい日本語には、会場の誰もが、感嘆したに違いない。ただ、いささか残念な事柄は、半数近くの留学生が、小さい原稿を見ながら、それをひたすら読み上げていた点である。もし彼らが、手元の原稿を見ずに、きちんと聴衆の顔を見ながら、笑顔で弁論をしたならば、彼らの成績は、より高得点をたたき出せたと考えられる。多くの聴衆を前にして、原稿を見ないで、堂々と弁論することの難しさは、確かにあるの

だが、留学生の日本語能力の基礎がすでに確立しているのに、ただメモ書きだけを読むだけでは、やはりもったいないなど感じられた。

この点は、留学生の弁論が終了した別室での審査委員会でも、かなり話題になり、インターネットからの引用やある資料からの剽窃などで、表面的にはうまく発表したように思

われる留学生に対しては、審査委員の先生から、おしなべて厳しい評価が下されてしまった。来年度からは、弁論大会の意義や性格を留学生により明確に伝えて、原稿などは絶対に見ないようにさせるべきかも知れない。これらの点は、来年の大会に向けての課題事項と言えそうである。

成績優秀者は、審査委員長の講評の後に早速公表された。最優秀賞には、「日本のアニメ文化とその文化の中国での発展」を発表した李亦竹君が選ばれたが、彼は弁論の内容も素晴らしい上、原稿もまったく見ないで、落ち着いて発表した実力が高く評価された。優秀賞には、「全人類コミュニケーションの大切さ」の張衡飛君、「東京へ旅行しましょう！」の王晨君、「中日の勤労意識」の李飛君らの三名が選ばれた。努力賞には、「みんなは一家族の人だ」の朱昕怡さん、「私の夢」の姚珍珍さん、「根気」の朱啓磊君、「命の価値」の趙云霞さんらの四名が選ばれた。本当に、入賞を果たした八名の留学生には、心からお祝いと敬意を申し上げますと思う。

また、7月7日には、昼休みに弁論大会の表彰式も行われ、入賞留学生には、長谷川学長より、賞状と盾そして副賞の奨学金が授与された。その後は、



学長を囲んでの昼食会も開かれ、八名の留学生は、緊張しながらも、かなり嬉しげに、自慢の日本語で自己紹介などをして、教職員との会話を楽しんでいた。

とにかく、本学にはすでに七十名以上の留学生が在籍しているので、留学生の人数の面では、道内の大学のなかでも、屈指の高等教育機関になっている。したがって、今後も、このようなイベントを益々充実させ、学内における国際化の気運を格段に盛り上げながら、留学生諸君には、情報大学で学べて、本当に幸せで有意義であると感じてもらえるよう、我々教職員も、できる限りの支援と指導をしてゆきたいものである。

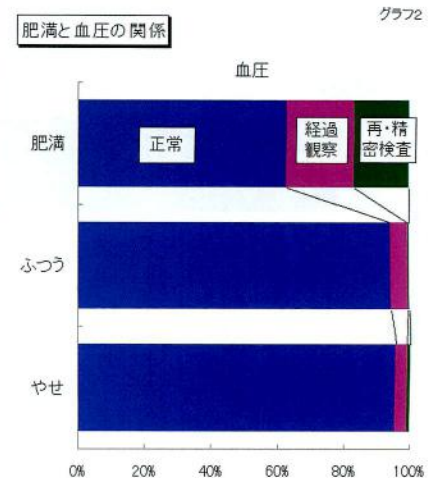
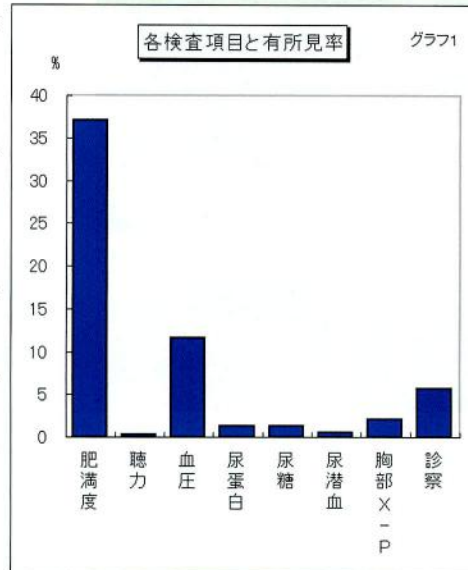
# 学生の健康状態について

1. 平成23年度学生の定期健康診断を4月上旬に4日間実施しました。

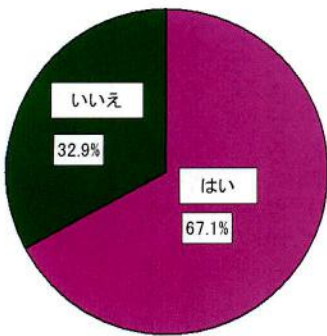
健康診断項目は身長・体重・視力・聴力・血圧・尿検査(蛋白・糖・潜血)・診察・胸部レントゲン(1・4年生のみ)

結果については、ほとんどが「異常なし」「正常」となっています。

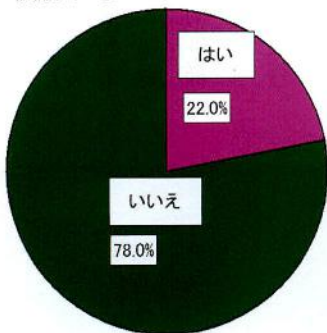
検査項目のなかで有所見率(「異常なし」以外の経過観察、再検査、精密検査など)は、1 肥満度(やせ18.1%、肥満19.0%)、2 血圧、3 診察の順です。



朝食を摂っていますか? グラフ3



運動 1回30分以上週2回以上の運動を1年以上継続しているか? グラフ4



## 2. 生活習慣について

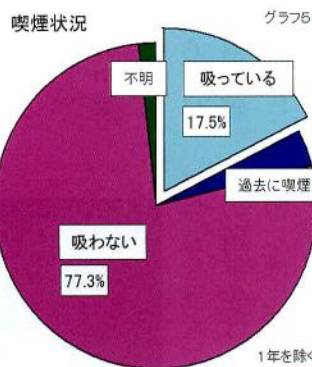
健康診断で肥満度「太り気味」「太りすぎ」は19%を占めます。

肥満者は血圧が高い割合も多い(グラフ2 = 上)

朝食を摂っていない(グラフ3)学生32.9%、運動習慣(グラフ4)のない学生は78%、となっています。特に、肥満状態が続くことによって近い将来糖尿病などの生活習慣病を発症することになります。

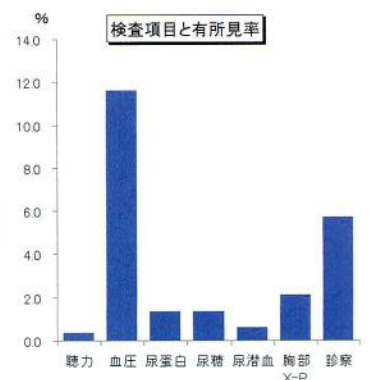
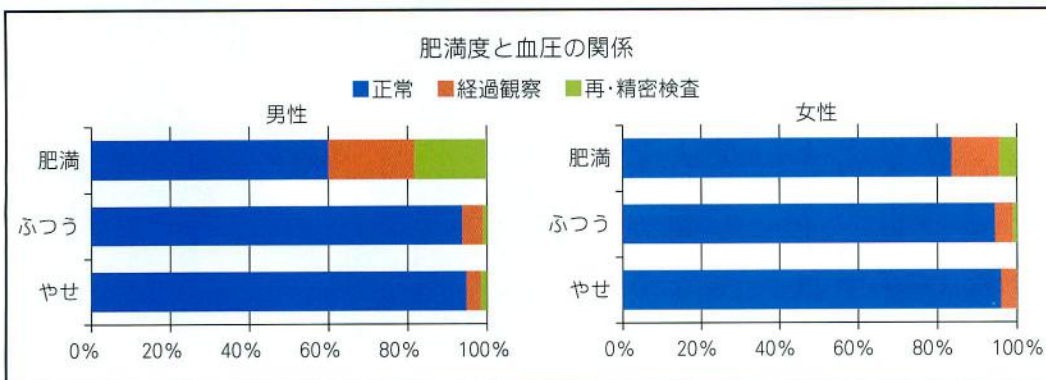
生活習慣病(糖尿病、心筋梗塞、脳卒中など)は日々の生活習慣(食事、運動など)の偏りによって引き起こされる病気です。

たばこはがんや血管に対して病気を引き起こします。喫煙率(17.5%)はグラフ5のとおりです。昨年のたばこの大幅の値上げによって禁煙へ取り組む人も多かったのではないのでしょうか。



たばこを吸う人はニコチン依存症です。薬物依存です。禁煙に取り組みましょう。

学生の時から自分の身体の健康を守る(自己管理)ことに心がけましょう。



# 樋口君が学生本因坊戦全国大会出場へ

囲碁部顧問 竹内 典彦

囲碁の学生本因坊戦の北海道予選が、6月11日(土)に北海道大学で開催されました。本学囲碁部一年生の樋口洋一郎君が見事に準優勝となり、8月12日〜14日に東京で開催される学生本因坊戦全国大会に参加することが決まりました。北海道予選は十名の参加だったのですが、同じ囲碁部顧問の梅津先生も、「いずれ劣らぬ高段者ばかりの中から、激戦を突破して勝ち取った準優勝ですから、たいへんな価値があります」と語っています。

以下、樋口君の話です。「ぎりぎりの試合が多くて、しつかり勝ちきることの難しさを感じました。大学での最初の全国大会なので、どこまで通用するか、自分の力を試したいと思います」

樋口君は岩手県出身で、小学校一年生のと

きに、近所の囲碁教室の先生に誘われたことがきっかけで、囲碁を習いはじめました。小学校五年生のときには初段になり、六年生のときには岩手県代表で小学生の全国大会に出場するくらいまでになりました。その後中学校一年と二年のときに団体戦で全国大会に出場し、三年生のときに個人戦で全国大会に出場しました。このころにはすでに六段の実力があつたそうです。そして高校でも全国大会に出場してきました。

本学囲碁部部長の飛田君、そして部員の杉山君も、樋口君という実力者が入部したので、とても刺激を受けています。近い将来団体戦のチームを作り、北海道では常勝軍団である北海道大学にチャレンジしようと思気込んでいます。

樋口君は現在、8月の全国大会に向けて、部活動に加えて、ネットでも週三回ほど囲碁の対局をしたりして準備を進めています。部員一同樋口君の全国大会での健闘を祈っています。

囲碁部では部員を募集しています。全国レベルの樋口君とともに、皆で楽しみながら活動しましょう。初心者の方も大歓迎です。部に遊びに来てください！



「ハバネロラジオ」  
 この番組の聞き方  
 リスナーの皆様へ  
 スポンサー様紹介  
 過去の番組配信へ

- ★ハバネロラジオ★宇宙人による放送の音楽バラエティ♪
- ハバネロラジオ 1月1日(月)「当分はお正月だからめも八月」配信。ハバネロラジオ 1月1日(月)配信。アマリアーゴとい...
- ハバネロラジオ 1月15日(土)「フォーエバー」配信。ハバネロラジオ 1月15日(土)配信。前回モロロイヤルは主人公
- ハバネロラジオ 1月1日(日)「昭和を思い出して大人になる！」配信。ハバネロラジオ 1月1日(日)配信。地球で手始め生活を始める...
- ハバネロラジオ 1月15日(土)配信。EPOD中で聴く。
- ハバネロラジオ 1月1日(日)配信。3人の職にいつも着た。
- ハバネロラジオ 1月1日(日)配信。今回お笑いキャッチャーの
- ハバネロラジオ 1月4日(水)配信。今回お笑いキャッチャーの
- ハバネロラジオ 1月15日(土)配信。ハバネロラジオの1月15日配信です。3月11日午後9時迄。
- ハバネロラジオ 1月1日(日)配信。ハバネロラジオの1月1日配信です。

「ハバネロラジオ」



ハバネロ星からやってきた3人の宇宙人。  
 (ハバネロ星音楽調査隊)

ハバネロラジオ  
habanero-radio.com

隊長：キャプテン・ハバネロ (中央)  
 ハバネロ帝国音楽大学首席卒業のエリート音楽家。ラジオDJもこなす。特技は作曲の早業。TV出演好き。

秘書：レディー・ピッキーヌ (右奥)  
 隊長に慣れるもの相手にしてもらえず不満気味。迫る婚期に焦って時々酒乱の傾向あり。福山雅治好き。

補佐：ドクター・ジョロキア (左奥)  
 半分ボケ？困った爺さん。だが気は若く「若造にオマケでたまるかあ！」と妙にメラメラ。豊満女性好き。

彼らのかかると地球で人気の曲がオモシロソングに早変わり！  
 慣れない地での生活は毎日がコト!

「ハバネロラジオ」は毎月1日と15日の<月2回配信>。おかりでサッパル時代からも大好評!! マニアックな笑いを体験せよ!

ページ・トップへもどる

◆最新配信◆



Podcast  
 My Favorite  
 Podcast 番組リスト

ハバネロラジオ★宇宙人による放送の音楽バラエティ♪

00:00 / 00:00  
 by Podcast

□番組宛メール



□iTunes Podcast



□ケロログ RSS



## 「ハバネロラジオ」公式Webサイト

参加のきっかけは？  
 私の高校時代の友人でもあり、2009年、カタキツネの自然回帰がテーマのチャリティ絵本・音楽CDセット「シユマリ」の制作でも一緒に仕事をしていて、札幌出身の新進気鋭の作曲家、澤口和彦さん(収録されている三作品の作曲と編曲を担当。詳細は「ななかまど」四十八号を参照)から、「配信しているポッドキャスト番組のコナナを担当して欲しい」と2010年2月下旬頃にお誘いを受けたのが、そもそもの話の始まりです。

ポッドキャスト／ポッドキャストイングとは？  
 インターネット上で配信されているラジオ番組などの音声コンテンツを、Apple社のiTunesなどを代表とする、パソコンやネットワーク機器と接続できる携帯オーディオ・プレーヤーに自動録音し、収集されたものをユーザーが好きな時に聴取する仕組みのことです。パソコン一台とマイク、あるいはiRecorder程度の簡単な機器さえあれば、「音声ブログ」のような配信形態は極めて簡単に実現出来ますし、国内の放送局でも、ラジオ番組の副次的なサービスとして導入し、聴取者層の拡大を図っている事例が数多くあります。

三人の宇宙人「ハバネロ音楽調査隊」による地球珍道中! 「流行のものも」が、彼らの手にかかると『おもしろソング』に大変身! というコンセプトがガッチリと固まってしまったわけですね。なぜ「ハバネロ」なのかというと、それまでの配信番組からスポンサードして載っている二社(札幌のスーパーカレー専門店と伊豆高原のタンタンメン専門店)が、共通して辛い料理を提供している、ということが背景にあります。

次に、番組進行の目安となる「キュー・シート」=「進行表」の制作です。それまでの「澤口和彦の音楽宅配便」は、配信頻度や収録時間がその都度まちまちだったのですが、内容の「質」を一定にすることに、また、将来的に国内のラジオ放送局にもコンテンツを供給する可能性を見据え、配信は月二回、収録時間を十五分に統一することにしました。そこから、オープニング、エンディング、コナナ、コマシヤルなどの時間を振り分け、BGMのフェード・インやフェード・アウトなどを指示した進行表を仕上げました。通常、進行表は放送ごとに用意すべきものなのですが、澤口さんや主要スタッフの本業の合間に制作を行うという都合上、進行表は標準的なものを用意し、その内容を大まかな指標としながらアド・ホック(場当たり的)に制作するというスタイルを採っています。

役割分担ですが、番組の企画と構成、「ハバネロ・チューン・ピクアップ」コナナの脚本と、コナナ中に流れる楽曲の作詞、また番組の一部原稿については私(新井山)の担当、番組中のコメント・コナナの脚本と、番組内のオープニング・トーク、エンディング・トークの原稿などは、澤口さんの仕事仲間である作家の小柳シオさんに協力をお願いしています。そして、楽曲制作、番組収録、編集作業から、配信番組の完成に至るまでの手順は、多忙な澤口さんが、本業の合間を縫うように作業を進めて下さっています。また、これまでに多くの声優さんやゲストにも番組に参加して載っていますが、これもひとえに澤口さんのビジネス・コネクションに拠るところが大きく、番組のクオリティ維持に貢献していることは間違いありません。

# 道内FMラジオ局でも放送中の「ハバネロラジオ」の制作に情報メディア学部・新井山准教授が参加

2011年1月よりネット配信開始、同年4月より道内ラジオ局でも放送中のポッドキャスト番組「ハバネロラジオ」の制作に、情報メディア学部・新井山准教授が参加しています。

彼は当初、作曲家としてのプロモーション手段と、楽曲愛好者としてのコミュニケーションの場を兼ねて、「澤口和彦の音楽宅配便」というポッドキャスト番組を不定期配信していましたが、2011年を迎えるにあたり、番組自体のマイナー・チェンジを考えたにたようにです。そもそも私がコナナを担当するという話に過ぎなかつたものが、チャットや、直接会話を重ねていく間に、メジャー・チェンジ、大幅リニューアル、そして、最終的に「ハバネロラジオ」という、まったく別の番組を配信することになってしまいました。



ん。脚本や原稿のやり取り、番組の内容に関する協議や連絡の手段については、各自本業を抱え、居住地もバラバラというスタッフ事情から、ネット上のグループ・ウェア、Skypeなどのツールを活用しながらの制作となります。

◇番組の内容は？

簡単に説明すると、「ハバネロ星」からやってきた三人の宇宙人のお話で、異星人による地球上の生活が主題のコントと、流行のTOPを調査する「ハバネロ・チューン・ピックアップ」のコーナーからなります。ですが、ここは聴いて戴くのが一番！是非、公式サイト（http://www.habanero-radio.com/）上にある「YouTube」のプレーヤーから、記念すべき第一回目配信（2011年1月1日）をお聴き下さい。「ハバネロ・チューン・ピックアップ」では、2010年にヒットした「トイシの神様」（植村花菜）を取り上げるも、ドタバタ発生、最終的に本来の楽曲とは全く異なる「ガッデス・オブ・ザ・便所」というフザケたタイトルのオリジナル楽曲が流れてしまつという展開…あとは聴いてのお楽しみです。

◇メディア展開について

2011年からの配信開始後、TwitterやMixiなどのSNSを積極的に活用したプロモーションを展開しました。その効果は想定を上回る速度と範囲で波及し、同年2月までにはHBCラジオ北海道放送で夕方に放送されている洋楽リクエスト番組「Music Delivery BAN BAN RADIO」のディレクターやDJの方のお耳にも配信が届くこととなり、番組内の話題として高評価とともに取り上げて戴きました。また同年4月には、北海道東部・中標津町にあるコミュニティ放送局「FMはな（中標津 87.0MHz）金曜日のワイド番組「ハナキーン」内での隔週放送が決定し、当初の目標であった「国内のラジオ放送局へのコンテンツ配給」を配信開始わずか四カ月目にして達成するという、まさに上々の滑り出しとなりました。現在、放送局へコンテンツ

を受け渡す際の検品や諸々の窓口業務は、私が担当しています。

◇「ハバネロラジオ」の反響

実に有難いことですが、著名人の方々にもこの配信をお聴き戴いております。例えば、首都圏のFMラジオ局でパーソナリティを務める番組を多数お持ちの映画監督・杉崎智介さんは、この番組の熱烈なファンであり、2011年6月5日配信分では医師役としてコントにも参加されています。また、澤口さんが札幌のソフトウェア・メーカーでゲーム音楽を制作していた時代からその才能を見出し、自らが所属する音楽事務所への誘いを経て、作曲家・音楽家としての独立の機会を与えることとなった、彼の「恩人」にして「師匠」にあたる、作曲家の田中公平さん（代表作に「サクラ大戦」なども、毎回の配信を楽しみにして戴いていることです。近いうちに番組へのご出演も実現するかもしれません）。

◇番組の聴取方法は？

詳細は公式サイト（http://www.habanero-radio.com/）を確認願います。ちなみに、こちらのWebサイトの制作・運営・管理も私が担当しています。

◇学生の皆さんにメッセージを！

「ハバネロラジオ」では番組中「制作協力北海道情報大学・情報メディア学部・新井山ゼミ」というクレジットを挿入しています。現状ではゼミナールと番組制作活動はリンクしておらず、私以外に制作参加する学生はおりませんが、次年度以降のゼミ活動の主軸テーマ

として中心に据える予定です。もしポッドキャストやラジオ番組などの音声コンテンツ制作に興味のある学生がいましたら、是非、研究室をノックして戴き、一緒にお話が出来ればと思います。さらに今年度は、研究室内からの動画・音声配信を目標とする「デジタル・スタジオ設計画」を立て、各種機材を導入する予定です。

最後に個人的な話で恐縮ですが、大学で電子・情報工学を専攻していた私にとって、研究者としての業績に「放送」の分野が加わり、こうした形で具体的に関われることは大きな喜びでもあります。子供の頃からラジオと寝食をともにし、一方で半田「テープ手にラジオを自作するほどの、生来「ラジオ好き」の私が、今や企画・構成・脚本などで、ポッドキャスト番組の制作に携わることとなり、さらにその番組がラジオ局から電波に乗って実際に放送されているわけです。私にとってこれほどの幸せは滅多にないことです。今後は（ラジオを「聴く」受信機を「造る」そして（番組を「作る」、三拍子揃った「ラジオの達人」を目指さへ、この貴重な機会を活かしたいと思っております。

Captain Habanero presents "Habanero Radio" CUE SHEET (標準番組進行表)

Time	Contents	Sources	Effects
00'00"	OP Captain Habanero presents "Habanero Radioli" / 《Free Talk》	TM-1 (Opening Theme)	IN→UP DM
01'50"	CR1 This Program is Brought You by ・「とうがらし伊豆高原」 ・「スープカレー・ヴォイジュ」 And Supported by ・「北海道情報大学 情報メディア学部 新井山ゼミ」		UP→FO
02'00"	CM	CM-1 (とうがらし伊豆高原) CM-2 (ヴォイジュ)	IN
02'30"	Pt.1 (前半コーナー)	BG-1	IN FO
05'30"	Pt.2 ("Habanero Tune" コーナー) Today's Habanero Tune!! / M-1 《Habanero Tune 曲紹介》	M-1	IN (FG)
08'30"	Pt.3 (後半コーナー)	BG-2	IN FO
11'30"	CM	CM-2 (ヴォイジュ) CM-1 (とうがらし伊豆高原)	
12'00"	ED 《Free Talk》 (リクエスト/コーナー「ふつおた」の呼び込み) ※アナ声: 13'40'	TM-2 (Closing Theme)	FI
13'50"	CR2 This Program was Brought You by ・「スープカレー・ヴォイジュ」 ・「とうがらし伊豆高原」 And Supported by ・「北海道情報大学 情報メディア学部 新井山ゼミ」		UP→FO
14'00"	Filler (for Coe-Catcher)	BG-3	IN FO
15'00"	WHOLE PROGRAM CLOSED		

<備考>  
 ◇内容◇ OP: Opening / CR: Sponsor's Credit / Pt.: Part / ED: Closing  
 ◇素材◇ TM: Theme Music / CM: Commercial Message / BG: Background Music / M: Music  
 ◇効果◇ IN: Insert / FI: Fade In / FO: Fade Out / UP: Volume Up / DM: Volume Down

# メディアデザイン展 2011 メンバー募集中！

What's?

MD展

『メディアデザイン展（通称 MD 展）』とは毎年2月中旬に札幌で行っている、本学情報メディア学部の卒業研究・制作やプロジェクトを中心とした展示会です。毎年2月に教員、学生によって選ばれた卒業研究・制作や各種演習の優秀作品、カレンダープロジェクトなど様々なプロジェクトの展示を行っています。作品の管理、展示会を宣伝するための広報活動、会場での接客などは学生主体で行っています。

活動内容

活動は、デザイン班、渉外班、会場班に分かれて行います。

## \*デザイン班

パンフレットやキャプション(作品説明のカード)、広報活動で使用するはがき、ポスターなどのデザイン、印刷するまでの作業を中心に行います。

## \*渉外班

デザイン班が作成したはがきやポスターを置いていただけるよう各学校やギャラリーなどに配布します。また、展示期間中の記録として写真や映像の撮影も行います。

## \*会場班

出展者からの作品の受け取り・管理、会場設営に関するレイアウトの作成、展示会の運営および接客対応など会場に関することを担当します。

学外の方と接したり、学年関係なく作業を行うので普段と違う経験ができます。個人での制作ではなく、教員や先輩とかかわりながら制作していくので、色々な知識を得ることも可能です。みんなで楽しく活動しませんか？

連絡先

興味・質問がある方は、

mdten2011@hotmail.co.jp (担当 3年 田代)

まで連絡をお願いします。件名を「MD展について」とご記入下さい。



URL : <http://mccprj1.do-johodai.ac.jp/mde/>

私の薦める  
1冊の本

このコーナーでは、日頃の勉学や大学生活を豊かにするため、図書館で読みたい本や読むべき本を発見する手助けとして、本学の教員等による推薦図書をご紹介します。ブックガイドとしてお役立て下さい。

『技士道十五ヶ条』—ものづくりを極める術—

西堀榮三郎 著

朝日新聞出版 2008 朝日文庫

配架場所: 5階開架書架 &lt;請求記号 504||NBE&gt;



©朝日新聞出版

文=長谷川 淳(はせがわ じゅん)  
(学長)

紹介する本「技士道十五ヶ条」は、「ものづくりを極める術」を副題としています。著者の西堀榮三郎氏は、最初に、技術者がよるべき道徳律、技術者としてのあるべき姿、良心に恥じないための行動体系として「技士道」を提唱しており、各々「技術に携わる者は」ではじまる、十五ヶ条からなる規範を提示しています。また「このような人類に共通する理念を技術者はいつも心の底にもっていて、それにいたる道の第一歩として、いま何をすべきかを常に問い続けていく姿勢が必要」と指摘しています。

著者の西堀榮三郎氏は、卓越した学者・技術者であるとともに、登山家・探検家としても著名な方です。氏は、京都大学卒業後に母校の講師・助教授を勤められた後、東京電気(現、東芝)で「統計的品質管理」手法を確立し、同社を退社後も、その普及に尽力され、デミング賞を受けておられます。また昭和57年には、第一次南極観測越冬隊長として、わが国初の南極越冬を成功させました。その後も、日本原子力研究所、日本原子力船開発事業団、日本生産性本部の各理事を歴任されましたが、驚くなかれ70歳を過ぎてからも、ヤルン・カン遠征隊長やチョモランマ登山隊総隊長の任にあたられ、大きな足跡を残されておられます。

本書の本文は、「自然を考える」、「技術を考える」、「品質を考える」、「創造性を考える」、「組織を考える」、「技術を極める」の6章からなっています。著者の豊かな経験に基づいた内容となっており、示唆に富んだ、多くのことを考えさせてくれる本です。また実は、「技術者」を「社会人」と読み替えると、全ての人々にとっての規範ともなっています。

責任ある有能な社会人、情報技術者としての明日を視野において学んでいる学生諸君には、ぜひ読んで欲しい一冊です。

『モリー先生との火曜日』

ミッチ・アルボム 著、別宮貞徳 訳

日本放送出版協会 2004

配架場所: 5階開架書架 &lt;請求記号 936||ALB&gt;



©日本放送出版協会

文=富士 隆(ふじ たかし)  
(副学長・経営情報学部教授)

人との出会いが人生を変えるように、良書との出会いも人生を変えるかもしれません。「モリー先生との火曜日」は、人生の意味をテーマにしたノンフィクション小説で、著者のミッチ・アルボムが、彼の恩師である社会学のモリー先生とのすばらしい出会いを描いたものです。ミッチは、大学卒業後、ミュージシャンを目指し挫折した後に、スポーツコラムニストとして大成功し、毎日超多忙な生活をしていました。物には恵まれた生活でしたが、何か心が満たされない日々を送っていました。そんなある日、偶然、テレビ番組にモリー先生が出演し、モリー先生が不治の病と闘っていることを知ります。

ミッチは、早速モリー先生の家を訪問し、二人はそこで再会します。ここから、モリー先生のミッチへの授業が毎週火曜日に行われることとなります。現在の日本もそうですが、米国も物の豊かさが人生の目的であるような時代でしたので、モリー先生は真っ向からその問題点を指摘していきます。モリー先生は不治の病で、残された時間は多くはありませんが、「人生に意味を与える道は、人を愛すること、自分の周囲の社会のために尽くすこと、自分に目的と意味を与えるものを創り出すこと」の大切さをミッチに語りかけます。モリー先生の経験をもとに、「死について」、「家族について」、「かねについて」、「結婚」、「老いの恐怖」など、人が人として生きていく上での指針をミッチと語り合います。

家族の崩壊が見られる日本において、モリー先生の「人々がより所にする基盤は、家族である。愛は最高に大事なもの。」というメッセージと、一貫して主張している「互いに愛せよ。さなくば滅びあるのみ。」(詩人のオーディン)は、日本人が大切にしてきたものを失いつつある警告のように思えます。

学生の皆さんが、これからの人生を歩むとき、大いに参考にしていただきたいという願いを込めて、私の薦める1冊の本としました。

# 新図書館オープン！

～学生が集い、学び合う学習空間～



竣工日	：平成23年3月15日
構造規模	：鉄筋コンクリート 10階建
(図書館部)	4階～6階、及び1階(書庫エリア)
延床面積	：2,047㎡ 4階～6階 621.4㎡×3 1階書庫エリア 183㎡
開館日	：平成23年4月5日
閲覧座席数	：247席
情報端末数	：148台
図書収容可能冊数	：176,000冊
現有蔵書数	：116,226冊(2011.3.31)

去る4月5日(火)本年度入学式当日、新築されたeDCタワーに新図書館がオープンしました。規模は、4階～6階に3フロアー、1階に書庫エリアで構成され、総延床面積2,047㎡と旧図書館の2.3倍の広さに拡充されました。オープン初日から連日大勢の学生で賑わい、今年度入館者の大幅な増加と多様な利用が期待されます。

新図書館には、「ICTタグ付き自動書庫システム」(詳細次頁)が導入されたほか、ラーニング・コモンズエリアの拡充、最新のWindows、iMac PCを93台備えた情報フロアーやゼミやグループで自由に使えるグループコーナーなど随所に新しいコンセプトによる設備が備え付けられています。

さて、「新しい酒は新しい革袋に盛れ」と箴言にあります。立派な新図書館“新しい革袋”を建てて頂きました。今後は、軸足を利用サービスといったソフト面での質の向上にシフトし、授業との連携など学習支援組織としてのミッションを果たすべく充実に努めて参りたいと思います。図書館が醸造する“新しい酒”にご期待下さい。

## フロアガイド



# 「自動書庫」が導入されました。

～ICタグと連動した蔵書管理のイノベーション～

製品名	: 自動書庫 (メディアランナー)
設置日	: 平成23年3月15日
室内規模、床面積	: 103㎡ 高さ9.9m
収容可能冊数	: 10万6千冊
収容済冊数	: 5万5千冊 (2011.7.27)
スタックランナー	: 1基
出納ステーション	: 1カ所 (4階)
収納コンテナ数	: 2,644個 (A4:1,348個、 B5:754個、A5:542個)

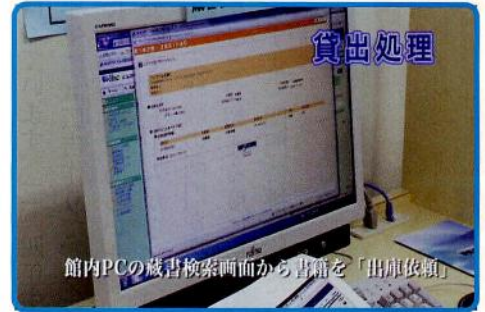
この程オープンした新図書館には、北海道地区の図書館では初めてとなる「自動書庫システム」が設置されています。自動書庫システムとは、据置書架スペースの約4倍の収容能力となる高密度保管書架を図書館システムと連携させ、蔵書管理、図書資料の入出庫管理を総てコンピュータシステムで正確に制御し管理するシステムです。本学で導入した「自動書庫」の最大の特徴は、全蔵書11万冊にICタグを貼付し図書館情報システムとデータ連携することで、日常の入出庫業務や蔵書点検(棚卸し)の効率化や確実性が飛躍的に向上したことにあります。

これにより、図書館資料の効率的収蔵と資料へのアクセス時間の短縮を図り、省スペース、省力化が実現されました。利用法もいたって簡便で、2～3分以内で取り出し可能であり、据置開架書架と変わらぬレスポンスが得られています。

省けた労力・時間を利用者への多様な学習支援サービスの向上展開へと繋がります。

## ご利用ガイド

出納ステーション(4階)



①館内PCから利用者IDで「出庫依頼」



②図書館員が出庫・返却



③貸し出し・返却



高速スタックランナー



高速リフターによる  
上下移動

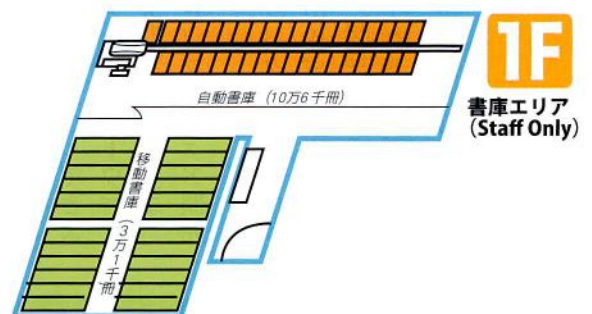
## フロアガイド



移動書庫



自動書庫





現在のゼミ生は四年生が九名、うち女子二名、三年生が十五名、うち女子が十一名と男子を圧倒し、「なでしこジャパン」みたいになっています。

eDCタワーが完成してからは、マツク環境である情報プラザ2で全体ゼミ講義を行っています。三、四年生合同です。

三年生には広告作りで、クライアントに直接電話をしてもらいます。その次は大通公園で百五十人からアンケートを集めます。未経験の関門が次々とあります。関門をひとつ超える度に自信がついてくようですよ。関門に挑戦したい方は…ぜひ!

川上ゼミは、現在の三年生で五期目となります。「先生の割には若いゼミ」とも言いましょうか? 三年生では広告デザインの研究を基本に、四年生ではそれぞれのテーマを練り上げ、研究を行っています。

デザイナーを目指す学生が多く、早くも一期生から相馬君がデザイン界に進み、現在グラフィックデザイナーとして活躍しています。二期生からはゲームデザイン会社のデザイナーが一名。三期からは印刷会社に一名。四期からも印刷会社のデザイナーに二名が採用され、これからの活躍が期待されます。IT関連にも多数採用されています。

今後もデザイナーを職業としていく学生を多く育てていきたいと考えています。が、他の職業に就いたとしても、広告を研究することは大変に役立ちます。

広告はいつの時代でも社会の最先端の活動です。しっかり人の志向を見据えて、訴えかけていくために、いろいろな角度から掘り下げて考えなければ作れないからです。ビジュアルを考えることはもちろん、コピーライティングも重要です。そして、何より心に訴えるハートが大事なのです。ハートを光らせましょう! これが将来の宝物になります。



ソフトウェア技術者は、入社試験として専門試験が課せられないという現状があり、基礎的な能力があれば、何とか業務につけるといいう状況があります。

これは、いわゆるITゼネコンといわれる人工ベースの仕事のやり方をしている企業がほとんどであることと関連しています。

しかし、リーマンショック以降、クラウド技術などの発展により、ようやく日本でもITゼネコンが崩壊しつつあります。このときこそ、ソフトウェア技術を身に付けた技術者の卵が業界から期待されるときだと思えます。

ソフトウェアの寿命が延びる中、ゼロからソフトウェア開発することより、既存のソフトウェアを修正したり、機能追加したりすることが開発の多くを占めるようになってきました。この状況では、オブジェクト指向技術をはじめとするソフトウェア品質を保證する開発手法を身につけることがますます求められています。このような考え方のもとに、オブジェクト指向を使ったソフトウェア開発について勉強しているのが谷川ゼミです。

2011年度は、四年生が、版管理、Linux、デザインパターンなど企業の開発現場で必要とされる技術を学びながら卒業論文の作成を進めています。三年生は、Anjutaで動作するプログラムを対象に、毎回テーマを決め、各自調査し簡単なプログラムを作成する中で、オブジェクト指向プログラミングを勉強しています。また、大学祭へのプログラム展示、プログラミングコンテスト参加は全員で取り組んでいます。

# 女子文化同好会

女子文化同好会は、情報大唯一の女子だけの同好会です。さらに、今年新設したばかりで、誰もが新入部員なので、内輪など気にする必要はありません！

先輩後輩関係なく、みんなが楽しいと思える同好会を一緒に作っていきましょう！

キャンプ  
BBQ

蒼天祭  
ハロウィンパーティー

クリスマス会  
新年会

新入生歓迎会  
体育祭

月に一度、みんなでやりたいことを企画し、活動します。また、先輩から後輩への教科書譲り渡しから、今流行りの女子会などもあります！

## 部員大募集中！



- ・女の子の友達が欲しい
- ・気軽に相談できる先輩が欲しい
- ・とにかくサークルに入ってみたい  
と思っている女の子はいませんか？

少しでも興味持ったら、気軽に連絡ください♪  
2年 江本 topdrop.4-26@docomo.ne.jp



# 情報大学 公開講座開始

【問い合わせ・申込先】北海道情報大学 教務課(公開講座担当)  
 電話:011-385-4427(直通) / ファクス:011-384-0134(代表)  
 E-MAIL:hiukouza@do-johodai.ac.jp  
 URL:http://www.do-johodai.ac.jp/kouza/kouza.html

【受付時間】月～金曜日/9時00分～17時45分(土曜・日曜・祝日/休業)  
 ※ただし、夏期休業中は、お電話での受付業務をお休みさせていただきますので、あしからずご了承ください。  
 夏期休業:8月10日(水)～8月22日(月)

講座日程	開講時間	回数	受講料	対象	定員	申込期間
4月16日(土)	10:30～18:00 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	大学生・一般	15名	3月22日(火)～ 4月1日(金)
4月21日(木), 28日(木)	18:30～20:30	全2回	1,000円	一般	15名	4月1日(金)～ 4月11日(月)
5月10日(火), 17日(火), 24日(火), 31日(火), 6月7日(火)	18:30～20:00	全5回	1,000円	一般	30名	4月15日(金)～ 4月27日(水)
5月12日(木), 19日(木), 26日(木), 6月2日(木)	18:30～20:30	全4回	1,000円	一般	30名	4月15日(金)～ 4月27日(水)
5月14日(土), 21日(土)	13:30～15:30	全2回	1,000円	中学生以上 一般	30名	4月15日(金)～ 4月27日(水)
5月28日(土), 6月4日(土), 11日(土)	13:30～15:30	全3回	1,000円	一般	30名	5月6日(金)～ 5月17日(火)
6月14日(火), 8月2日(火), 9月20日(火)	18:30～20:00	全3回	1,000円	一般	30名	5月19日(木)～ 5月30日(月)
6月18日(土), 25日(土)	13:30～15:30	全2回	1,000円	一般	30名	5月19日(木)～ 5月30日(月)
6月21日(火), 28日(火), 7月5日(火), 12日(火), 19日(火)	18:30～20:00	全5回	1,000円	一般	30名	5月19日(木)～ 5月30日(月)
7月2日(土)	10:30～18:00 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	大学生・一般	15名	6月6日(月)～ 6月17日(金)
7月7日(木), 14日(木), 21日(木), 28日(木)	18:30～20:30	全4回	1,000円	一般	30名	6月6日(月)～ 6月17日(金)
7月9日(土), 8月20日(土), 10月29日(土), 12月10日(土)	13:30～15:30	全4回	1,000円	一般	20名	6月6日(月)～ 6月17日(金)
7月12日(火), 8月23日(火), 11月1日(火), 12月13日(火)	18:30～20:30	全4回	1,000円	一般	20名	6月6日(月)～ 6月17日(金)
8月10日(水), 11日(木)	9:30～16:30 (昼休憩1時間)	全2回	無料	小学校3年生～ 小学校6年生	10名	7月15日(金)～ 7月29日(金)
8月13日(土)	13:00～17:30	全1回	無料	小学校高学年 とその保護者	15組(各組 最大6名まで)	7月15日(金)～ 7月29日(金)
8月27日(土), 10月1日(土), 10月22日(土), 11月12日(土)	13:30～15:00	全4回	1,000円	一般	30名	7月25日(月)～ 8月5日(金)
9月1日(木), 11月10日(木)	18:30～20:00	全2回	1,000円	一般	30名	7月25日(月)～ 8月5日(金)
9月3日(土), 10日(土), 17日(土)	13:30～15:30	全3回	1,000円	高校生以上 一般	30名	7月25日(月)～ 8月5日(金)
9月12日(月), 13日(火), 14日(水), 15日(木)	10:00～15:00 (昼休憩1時間)	全4回	1,000円	大学生・一般	15名	8月23日(火)～ 9月5日(月)
9月27日(火), 10月4日(火), 11日(火), 18日(火), 25日(火)	18:30～20:00	全5回	1,000円	一般	30名	9月1日(木)～ 9月12日(月)
9月29日(木), 10月6日(木), 13日(木), 20日(木), 27日(木)	18:30～20:30	全5回	1,000円	一般	30名	9月1日(木)～ 9月12日(月)
10月5日(水), 12日(水), 19日(水), 26日(水)	18:30～20:00	全4回	1,000円	一般	20名	9月1日(木)～ 9月12日(月)
11月1日(火), 8日(火), 15日(火), 22日(火), 29日(火)	18:30～20:00	全5回	1,000円	一般	30名	10月6日(木)～ 10月17日(月)
11月10日(木), 17日(木), 24日(木), 12月1日(木), 8日(木)	18:30～20:30	全5回	1,000円	一般	30名	10月6日(木)～ 10月17日(月)
12月3日(土)	10:30～18:00 (休憩1時間30分)	全1回	1,000円	大学生・一般	15名	11月7日(月)～ 11月18日(金)
12月6日(火)	18:30～20:00	全1回	500円	一般	30名	11月7日(月)～ 11月18日(金)



本学では、地域貢献の一環として、本年度も江別市と札幌市近郊にお住まいの皆様を対象とした公開講座を実施しております。

本学在学学生・卒業生・ご父兄の方もご参加いただけますので、興味のある方は、本学教務課までお問い合わせください。

なお、小学生が対象となっている講座以外はすべて有料となっておりますことをご了承ください。皆様のご参加をお待ちしております。

No.	講 座 名	場 所	講 師
1	人間関係がよくなる教育カウンセリング1日体験講座 ～構成的グループエンカウンター入門（春期）	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
2	フォトショップ上級編（デジタル一眼レフカメラ）	本学	本学非常勤講師・北島優
3	経営学を学ぼう	札幌サテライト	本学教授・坂本英樹
4	フォトショップ始めの一步 初級編	本学	本学非常勤講師・北島優
5	暗号の話 歴史を変えた暗号～ エリザベス女王暗殺計画の暗号文はなぜ見破られたか？	札幌サテライト	本学准教授・豊田規人
6	英文eメール・英語プレゼンテーション入門	本学	本学教授・竹内典彦 本学准教授・チャールズ・マクラークティ
7	食と予防医療 （さっぽろバイオクラスター（Bio-S）・本学合同公開講座）	札幌サテライト	本学教授・西平順
8	初めてのデジタルカメラ	札幌サテライト	本学非常勤講師・北島優
9	経営学ケーススタディ	札幌サテライト	本学教授・坂本英樹
10	人間関係がよくなる教育カウンセリング1日体験講座 ～構成的グループエンカウンター入門（夏期）	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
11	レベルアップ！フォトショップ中級編	本学	本学非常勤講師・北島優
12	（初級編） パソコンで季節のグリーティングカードを作っちゃおう！	本学	本学教授・川上正博
13	（中級編） パソコンで季節のグリーティングカードを作っちゃおう！	本学	本学教授・川上正博
14	夏休み自由研究教室 こどもビデオ編集体験講座	本学	本学准教授・向田茂、安田光孝
15	夏休み自由研究教室～ロボットで理科を学ぼう～	本学	本学准教授・棚橋二朗
16	地域学講座 北海道の地域医療：歴史と現状	本学	本学教授・平子（広瀬）玲子、西平順、浜淵久志 本学非常勤講師・原暉之
17	生活習慣病の予防医学	札幌サテライト	本学教授・佐藤浩樹
18	JavaScript を用いた初級プログラミング	本学	本学講師・柳信一
19	手軽に作るクレイアニメ	本学	彫刻家・原田ミドー
20	モチベーション・マネジメント ～人のやる気はどこから来るのか？～	札幌サテライト	本学准教授・金間大介
21	パソコン入門	本学	本学准教授・広奥暢
22	現代青少年のコミュニケーションの問題性とその対処法 ～教育カウンセリングを手がかりに	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
23	ITビジネス閑話	札幌サテライト	本学教授・中村忠之
24	Word & Excel 初級編	本学	本学准教授・広奥暢
25	人間関係がよくなる教育カウンセリング1日体験講座 ～構成的グループエンカウンター入門（冬期）	札幌サテライト	本学教授・中村正巳
26	生活習慣病と遺伝子 ～あなたの体質は遺伝子でどこまで分かるか～	札幌サテライト	本学教授・中林秀和

# 学校法人 電子開発学園 平成22年度決算の概要

平成22年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせ致します。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「消費収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

## ① 資金収支計算書

平成22年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れでみると、収入は、学生の増加による学生生徒等納付金収入の増加、国庫補助金収入および地方公共団体補助金収入、事業収入等が増加し、前年度より繰越された支払資金の2,833百万円を加えると、収入合計は8,320百万円となり、予算対比11百万円の収入減となりました。

支出については、教育研究費と管理経費においては、予算対比72百万円の支出削減に努めましたが、人件費、施設・設備関係支出等が増加し、次年度への繰越支払資金は3,688百万円で予算対比486百万円の増加となりました。

## ② 消費収支計算書

平成22年度の消費収支計算書により予算と決算を比較すると、収入は学生の増加により学生生徒等納付金は増加し、手数料、補助金、事業収入等も予算を上回り、帰属収入合計は4,168百万円で予算対比33百万円の増加となりました。基本金組入額はeDCタワー新築工事、LAN設備工事、実習室・ゼミ室用機器備品および受託研究用機器備品購入等で241百万円となり、予算対比15百万円の減少となりました。消費収入合計は帰属収入合計から基本金組入額を差引いて3,927百万円で予算対比48百万円の収入増となりました。

支出については、人件費が1,836百万円で予算対比7百万円の増加、資産処分差額は158百

万円で、保有する有価証券の評価減等により予算対比150百万円の増加となり、消費支出合計は4,159百万円で、予算対比93百万円の増加となりました。

なお、保有する有価証券については、満期保有目的でかつ満期時において元本保証されているものですが、学校法人会計基準第27条では「取得価額に比して時価が著しく下落した有価証券については、回復可能と認められる場合を除き、時価で評価するものとする」とされており、当法人の運用規程に基づき、当年度評価減を行いました。以上により、当年度消費支出超過額は232百万円、翌年度繰越消費収入超過額は664百万円となりました。

## ③ 貸借対照表

平成22年度末における資産の部合計は14,826百万円で前年度末対比1,828百万円増加しました。その内訳は固定資産が945百万円(主にeDCタワー新築)、流動資産が883百万円(主に現金預金)増加しました。

負債の部合計では3,963百万円で前年度末対比1,819百万円増加しました。その内訳は固定負債が1,213百万円(主にeDCタワー新築に伴う長期借入金)、流動負債が606百万円(主に未払金)増加しました。

基本金の部合計は10,199百万円で前年度末対比241百万円増加しました。その内訳は校舎・機器備品・図書等の固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金への組入額が240百万円、恒常的に保持すべき資金の額を示す第4号基本金の組入額が1百万円となっています。

今日、私学を取り巻く環境は、学齢人口の減少等により一段と厳しくなっていますが、本学園は、健全な財務体質を維持するために教職員が一致結束して、特色のある教育活動や経費節減に取り組み、教育改革および経営改革を推進する所存です。

①資金収支計算書 平成22年4月1日～平成23年3月31日

収入の部 (単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,456,677,000	3,459,722,570	△ 3,045,570
手数料収入	33,776,000	38,532,860	△ 4,756,860
寄付金収入	5,038,000	5,538,269	△ 500,269
補助金収入	400,305,000	415,412,007	△ 15,107,007
国庫補助金収入	352,457,000	365,250,000	△ 12,793,000
地方公共団体補助金収入	47,848,000	50,162,007	△ 2,314,007
資産運用収入	33,903,000	34,710,478	△ 807,478
資産売却収入	181,000	180,000	1,000
事業収入	164,050,000	168,139,433	△ 4,089,433
雑収入	41,540,000	45,350,780	△ 3,810,780
借入金等収入	1,250,000,000	1,250,000,000	0
前受金収入	1,597,803,000	1,607,434,531	△ 9,631,531
その他の収入	140,264,000	165,008,276	△ 24,744,276
資金収入調整勘定	△ 1,625,194,000	△ 1,702,773,547	77,579,547
前年度繰越支払資金	2,832,707,000	2,832,707,356	△ 356
収入の部合計	8,331,050,000	8,319,963,013	11,086,987

②消費収支計算書 平成22年4月1日～平成23年3月31日

消費収入の部 (単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,456,677,000	3,459,722,570	△ 3,045,570
手数料	33,776,000	38,532,860	△ 4,756,860
寄付金	5,410,000	6,509,556	△ 1,099,556
補助金	400,305,000	415,412,007	△ 15,107,007
国庫補助金	352,457,000	365,250,000	△ 12,793,000
地方公共団体補助金	47,848,000	50,162,007	△ 2,314,007
資産運用収入	33,903,000	34,710,478	△ 807,478
資産売却差額	82,000	0	82,000
事業収入	164,050,000	168,139,433	△ 4,089,433
雑収入	41,540,000	45,350,780	△ 3,810,780
帰属収入合計	4,135,743,000	4,168,377,684	△ 32,634,684
基本金組入額合計	△ 256,337,000	△ 240,897,871	△ 15,439,129
消費収入の部合計	3,879,406,000	3,927,479,813	△ 48,073,813

③貸借対照表 平成23年3月31日

資産の部 (単位：円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,964,054,812	10,019,562,228	944,492,584
有形固定資産	7,518,214,577	6,443,007,564	1,075,207,013
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	4,981,988,419	3,966,645,676	1,015,342,743
教育研究用機器備品	242,035,365	193,607,528	48,427,837
その他の機器備品	41,084,868	42,727,633	△ 1,642,765
図書	401,426,183	392,928,182	8,498,001
建設仮勘定	14,700,000	37,062,360	△ 22,362,360
その他の有形固定資産	111,463,593	84,520,036	26,943,557
その他の固定資産	3,445,840,235	3,576,554,664	△ 130,714,429
教育研究用ソフトウェア	37,779,399	19,357,014	18,422,385
その他のソフトウェア	6,994,322	2,707,250	4,287,072
有価証券	2,329,126,000	2,478,286,000	△ 149,160,000
その他の固定資産	1,071,940,514	1,076,204,400	△ 4,263,886
流動資産	3,861,853,659	2,978,524,602	883,329,057
現金預金	3,688,142,502	2,832,707,356	855,435,146
未収入金	109,751,283	84,804,096	24,947,187
その他の流動資産	63,959,874	61,013,150	2,946,724
資産の部合計	14,825,908,471	12,998,086,830	1,827,821,641

支出の部 (単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,837,872,000	1,842,636,434	△ 4,764,434
教育研究経費支出	1,288,998,000	1,236,397,811	52,600,189
管理経費支出	650,695,000	631,562,998	19,132,002
借入金等利息支出	8,113,000	8,111,247	1,753
借入金等返済支出	22,311,000	22,310,000	1,000
施設関係支出	1,181,363,000	1,192,915,754	△ 11,552,754
設備関係支出	162,376,000	163,421,611	△ 1,045,611
資産運用支出	3,963,000	59,216,756	△ 55,253,756
その他の支出	494,236,000	487,719,623	6,516,377
資金支出調整勘定	△ 521,401,000	△ 1,012,471,723	491,070,723
次年度繰越支払資金	3,202,524,000	3,688,142,502	△ 485,618,502
支出の部合計	8,331,050,000	8,319,963,013	11,086,987

消費支出の部 (単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,829,298,000	1,836,047,271	△ 6,749,271
教育研究経費	1,499,079,000	1,454,520,913	44,558,087
管理経費	683,022,000	664,445,863	18,576,137
借入金等利息	8,113,000	8,111,247	1,753
資産処分差額	7,847,000	157,800,974	△ 149,953,974
徴収不能引当金繰入額	7,932,000	6,998,000	934,000
徴収不能額	30,632,000	31,193,300	△ 561,300
消費支出の部合計	4,065,923,000	4,159,117,568	△ 93,194,568
当年度消費支出超過額	186,517,000	231,637,755	
前年度繰越消費収入超過額	895,643,000	895,643,353	
翌年度繰越消費収入超過額	709,126,000	664,005,598	

負債の部 (単位：円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,338,938,871	126,201,610	1,212,737,261
長期借入金	1,226,740,000	49,050,000	1,177,690,000
退職給与引当金	46,845,647	53,434,810	△ 6,589,163
長期未払金	65,353,224	23,716,800	41,636,424
流動負債	2,624,204,576	2,018,380,312	605,824,264
短期借入金	59,810,000	9,810,000	50,000,000
未払金	925,413,526	417,595,167	507,818,359
前受金	1,607,434,531	1,557,494,995	49,939,536
預り金	31,546,519	33,480,150	△ 1,933,631
負債の部合計	3,963,143,447	2,144,581,922	1,818,561,525

基本金の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	9,907,759,426	9,667,861,555	239,897,871
第4号基本金	291,000,000	290,000,000	1,000,000
基本金の部合計	10,198,759,426	9,957,861,555	240,897,871

消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	664,005,598	895,643,353	△ 231,637,755
消費収支差額の部合計	664,005,598	895,643,353	△ 231,637,755
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,825,908,471	12,998,086,830	1,827,821,641

# 大学主要行事等

〈4月1日～8月1日〉

## ◆◆ 教職員の動向 ◆◆

◇法人本部◇  
4月1日付  
昇任 経理課 係長 石田 英弘  
昇任 東京事務所 主任 内堀 由貴

◇大 学◇  
4月1日付  
(就 任)  
副学長 富士 隆  
経営情報学部部長 森澤 好臣  
通信教育部長 中村 鎮雄  
教養部部長 平子 玲子  
学生部長 梅津 真  
情報センター長 谷川 健  
保健センター長 西平 順  
学習支援センター長 穴田 有一  
先端経営学科長 中村 忠之  
システム情報学科長 澤井 秀  
情報メディア学科長 藤井 敏史

(探 用)  
特任教授 田城 徹雄(情報メディア学科)  
教授 尾崎 博一(システム情報学科)  
教授 守 啓佑(情報メディア学科)  
准教授 後藤 雄太(医療情報学科)  
准教授 齋藤 静司(医療情報学科)  
講師 今井 希(先端経営学科)  
講師 荒木 陽子(医療情報学科)  
講師 田中 里実(医療情報学科)

(配置換)  
システム情報学科 教授 関 正治(情報メディア学科)  
(昇 任)  
教 授 向原 強(准教授)  
(退 職)  
6月30日付  
准教授 有道 出人(先端経営学科)

《職員》  
4月1日付  
(探 用)  
事務局次長兼総務課長 川口 修一  
国際交流・留学生支援事務室室長 今長 豊

(就 任)  
事務局顧問 佐々木 美喜雄(広報室顧問)

(昇 任)  
会計課課長 石川 弘行(会計課課長補佐)  
総務課課長補佐 角谷 有規(総務課庶務係長)  
会計課課長補佐 河村 信司(会計課経理係長)  
国際交流・留学生支援事務室室長補佐 森 一峰(国際交流・留学生支援事務室係長)  
会計課経理係長 坂根 綾子(会計課経理主任)  
学生サポートセンター事務室係長 松尾 俊樹(学生サポートセンター事務室主任)  
会計課用度係主任 中田 圭亮(会計課用度係)  
広報室主任 繁永恵理子(広報室)  
学生サポートセンター事務室主任 木下 篤史(学生サポートセンター事務室)

## ◆◆ 主要行事 ◆◆

◇法人本部◇  
5月16日～5月20日 有限責任監査法人トーマツ「平成22年度決算監査」  
19日 理事会・評議員会

◇大 学◇  
4月 5日 入学式  
4日～8日 スタートアッププログラム  
8日～9日 新入生宿泊研修  
11日 前期開講  
15日 経営情報学部教授会  
情報メディア学部教授会  
FD研修会  
21日 F D研修会  
22日 全学教授会  
23日 金曜授業実施日  
5月12日 F D研修会  
13日 経営情報学部教授会  
20日 情報メディア学部教授会  
5月24日 学内共同研究成果発表会  
26日 新任教員研修会  
30日 保護者の会役員会  
6月 9日 国外研修報告会  
10日 経営情報学部教授会  
創立記念日  
12日 A O入学試験(A日程)  
13日～17日 授業参観週間  
24日～25日 体育祭  
17日 情報メディア学部教授会  
24日 全学教授会  
7月 8日 経営情報学部教授会  
15日 情報メディア学部教授会  
22日 全学教授会  
25日 企業・病院説明会、大学説明会  
31日～8月2日 A O入学試験(B日程)

◇大学院◇  
4月 5日 研究科委員会  
8日 学位論文等研究計画発表会  
20日 研究科委員会  
5月28日 推薦入学試験  
7月 6日 研究科委員会

◇通信教育部◇  
4月 1日 前期インターネットメディア授業開始

7日 平成23年度第8回入学選考  
11日 前期 I Pメディア授業放映開始  
5月21日～22日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験①  
6月15日 大分国際情報高等学校 大学見学  
17日～19日 前期地方スクーリング(1)  
7月 8日～10日 前期地方スクーリング(2)  
11日、19日～22日 前期 I Pメディア授業科目試験  
23日～24日 前期印刷・インターネットメディア授業科目試験②  
25日 新潟教育センター 大学見学  
8月 1日 秋田教育センター 大学見学  
1日～6日 夏期スクーリング(1)

## ◆◆ 広報活動 ◆◆

<進学相談会>  
4月:北海道 18会場(室蘭(2)、函館(2)、紋別、枝幸、岩見沢、北見(2)、旭川(2)、札幌、帯広、釧路、小樽、中標津、苫小牧)  
埼玉県 2会場(さいたま、大宮)  
5月:北海道 14会場(小樽、苫小牧、北見、旭川、静内、帯広、釧路、札幌(3)、新札幌(2)、函館、月寒)  
青森県 3会場(八戸、青森、弘前)  
秋田県 1会場(秋田)  
埼玉県 1会場(さいたま)  
6月:北海道 18会場(稚内(2)、伊達、函館、旭川、北見、中標津、釧路、帯広、留萌、花川南、札幌(2)、札幌北、江差、八雲、名寄、滝川)  
7月:北海道 2会場(苫小牧、札幌)

<高校内ガイダンス>  
4月:北海道 4校(深川東高校、滝川西高校、札幌大谷高校、札幌南陵高校)  
東京都 2校(関東第一高校、杉並学院高校)  
千葉県 1校(敬愛学園高校)  
5月:北海道 3校(札幌龍谷学園高校、北海学園札幌高校、江陵高校)  
栃木県 1校(作新学院高校)  
埼玉県 1校(小松原女子高校)  
東京都 3校(久留米西高校、東京実業高校、豊南高校)  
神奈川県 3校(横浜清風高校、横浜学園高校、武相高校)  
6月:北海道 13校(札幌北斗高校、駒澤大学附属岩見沢高校、札幌静修高校、札幌厚別高校、旭川龍谷高校、札幌創成高校、旭川実業高校、旭川大学高校、網走桂陽高校、当別高校、札幌光星高校、札幌山の手高校、札幌南陵高校)  
埼玉県 4校(小松原高校、武蔵越生高校、細田学園高校、埼玉栄高校)  
東京都 2校(昭和第一高校、東村山高校)  
神奈川県 2校(相洋高校、向上高校)  
福岡県 1校(中村学園三陽高校)  
7月:北海道 5校(北海道高校、クラーク記念国際高校(大通キャンパス)、倶知安高校、中標津高校、帯広北高校)  
埼玉県 1校(浦和学院高校)  
千葉県 1校(敬愛学園高校)  
東京都 1校(杉並学院高校)

<高校内進路講演会>  
4月:北海道 1校(上川高校)  
5月:北海道 1校(長万部高校)  
6月:北海道 7校(札幌琴似工業高校、釧路明輝高校、枝幸高校、札幌丘珠高校、恵庭南高校、野幌高校、余市紅志高校)  
7月:北海道 2校(北海道栄高校、鶴川高校)

<高校出張講義>  
5月:北海道 1校(札幌山の手高校)  
6月:北海道 4校(仁木商業高校、苫小牧中央高校、札幌新陽高校、札幌創成高校)  
7月:北海道 2校(鶴川高校、釧路明輝高校)

<高校訪問>  
4月:北海道59校、茨城県1校、栃木県1校、埼玉県8校、千葉県1校、東京都6校、神奈川県5校  
5月:北海道196校、青森30校、埼玉県3校、東京都7校  
6月:北海道42校、秋田県24校、埼玉県3校、東京都3校、神奈川県2校  
7月:北海道200校、埼玉県4校、千葉県1校、東京都2校、神奈川県3校

<オープンキャンパス>  
4月17日 本学  
5月21日 北見、釧路  
22日 旭川、帯広、函館  
6月19日 本学  
26日 本学  
7月24日 本学  
30日 本学  
8月 1日 北見、釧路、函館  
< A O入試・奨学金説明会 >  
5月15日 本学

◇通信教育部◇  
入学説明会:本学独自  
7月 ; 7 会場(本学、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、大分)  
8月 ; 2 会場(旭川、帯広)

## ◆◆ 主な来学者 ◆◆

◇大 学◇  
6月 3日 北海道経済部、札幌市市長政策局他一行  
7月13日 札幌市長、江別市長他一行

◇広報室来学者◇  
4月26日 札幌白陵高校(大学見学:生徒40名、教員2名)  
27日 白樺学園高校(教員1名)  
5月24日 北海道栄高校(大学見学:生徒28名)  
6月 1日 江陵高校(教員2名)  
3日 富良野緑峰高校(大学見学:生徒38名)  
3日 岩内高校(教員1名)  
15日 大分国際情報高校(大学見学:生徒80名)  
16日 旭川龍谷高校(大学見学:生徒56名)  
20日 南幌高校(大学見学:生徒102名)  
22日 旭川明成高校(大学見学:生徒14名)  
30日 江別高校(大学見学:生徒20名)  
7月 6日 倶知安農業高校・真狩高校(インターンシップによる大学見学:生徒3名)  
13日 松風塾高校(教員1名)  
21日 音更高校(教員1名)  
23日 釧路明輝高校(高大連携大学見学:生徒8名、教員1名)  
8月 1日 利尻高校(教員1名)

## 編集後記

サッカー女子W杯。なでしこジャパンの「絶対にあきらめない」という言葉により最後まであきらめない粘り強さに多くの方が励まされたのではないのでしょうか。厳しい就職状況が続く中、就職活動も頑張っている学生にも「あきらめずれば道は開ける」ことを示唆してくれました。本号で就職支援サイトの開設、就職支援メッセージを掲載しました。

節電モードの中、汗をかいて諦めずに頑張り、内定を獲得されることを願っています。

学内報について、ご意見、ご要望などがございましたらnanakamado@do-johodai.ac.jpまでお寄せ下さい。